

Max(ALF ARK-7000X)

■■ ハンディ業務 ■■

BCPOS ver7.8～「在庫管理 オプション」

目次-①

- P- 1・・・目次-①
- P- 2・・・目次-②

- P- 3・・・ハンディ概要 Max(ARF ARK-7000X)
- P- 4・・・ドライバのインストール-①
- P- 5・・・ドライバのインストール-②
- P- 6・・・ドライバのインストール-③
- P- 7・・・ドライバのインストール-④
- P- 8・・・ドライバのインストール-⑤
- P- 9・・・日付・時刻設定(棚卸開始前に必ず行う)
- P-10・・・機種設定(BCPOS)

- ハンディ棚卸業務 ■■

- P-11・・・マスタ作成-解説(BCPOS)
- P-12・・・商品マスタ受信(ハンディ)-①
- P-13・・・商品マスタ受信(ハンディ)-②
- P-14・・・例)在庫データ読取り-①
- P-15・・・例)在庫データ読取り-②
- P-16・・・例)在庫データ読取り-③
- P-17・・・① HT→実棚取込み(ハンディデータ転送)
- P-18・・・② 差分調整(棚卸中の変動在庫数調整)
- P-19・・・③ 棚卸一覧(理論在庫と実在庫の比較)
- P-20・・・④ 棚卸締処理(実在庫の反映)
- P-21・・・実棚確認(ハンディデータの確認)
- P-22・・・取込み済み(ハンディデータの確認)
- P-23・・・実棚修正/追加(棚卸データ修正)
- P-24・・・ハンディメンテナンス(棚番運用時等)
- P-25・・・帳票関連-①
- P-26・・・帳票関連-②

目次-②

■■ ハンディ仕入・移動業務 ■■

P-28・・・仕入業務 設定

P-29・・・仕入・移動(マスタデータ転送)

P-30・・・例)仕入・移動データの読取り-1

P-31・・・例)仕入・移動データの読取り-2

P-31・・・例)仕入・移動データの確認と更新/削除-3

P-32・・・① HT→実棚取込み (ハンディデータ転送)

P-33・・・② ハンディ用データ取込

P-34・・・③ 仕入・移動データ反映(テキストデータの取込)-①

P-35・・・④ 仕入・移動データ反映(テキストデータの取込)-②

■■ ハンディ売上業務 ■■

P-37・・・売上業務 設定

P-38・・・売上(マスタデータ転送)

P-39・・・例)売上データの読取り-①

P-40・・・例)売上データの確認と更新/削除-②

P-41・・・① HT→実棚取込み (ハンディデータ転送)

P-42・・・② ハンディ用データ取込

P-43・・・③ 売上データ反映(テキストデータの取込)-①

P-44・・・④ 売上データ反映(テキストデータの取込)-②

P-45・・・サポート

ハンディ概要 Max(ALF ARK-7000X)

ハンディで利用するハンディ(ALF ARK-7000X)の各ボタンの
主な機能解説、及び、TOPメニュー画面の切替



■機器の調整

起動中にトップ画面で「./-」ボタンを押しながら「ENT」ボタンを押すと設定メニューを表示

- 00:00
1. 売上
 2. 仕入
 3. 在庫(棚卸)
 4. 発注
 5. 入庫(移入)
 6. 出庫(移出)
 7. 単品スキャン
 8. マスタ受信



「./-」ボタンを押しながら
「ENT」ボタンを押す

- 00:00
1. 日時設定
 2. 入力設定
 3. パワーオフ設定
 4. 通信設定
 5. 削除表示

ドライバのインストール - ①

BCPOSでハンディのデータを受信したり、マスタ作成する為に
BCPOSとハンディを通信できるようにする為のソフトウェアをインストールします

※ ハンディターミナル用のUSBケーブルは接続しないでください

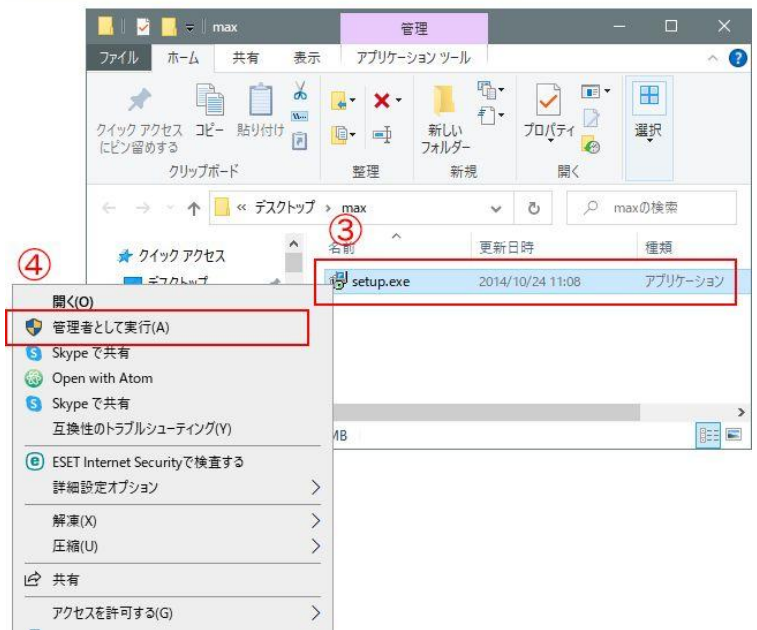
下記よりドライバーをダウンロードします
https://www.bcpos.jp/user_support/bcpos_manual/doc_zip/max.zip

① ブラウザの左下「∧」を押して

②「開く」を押します

③「seup.exe」を右クリック

④「管理者として実行」を押します

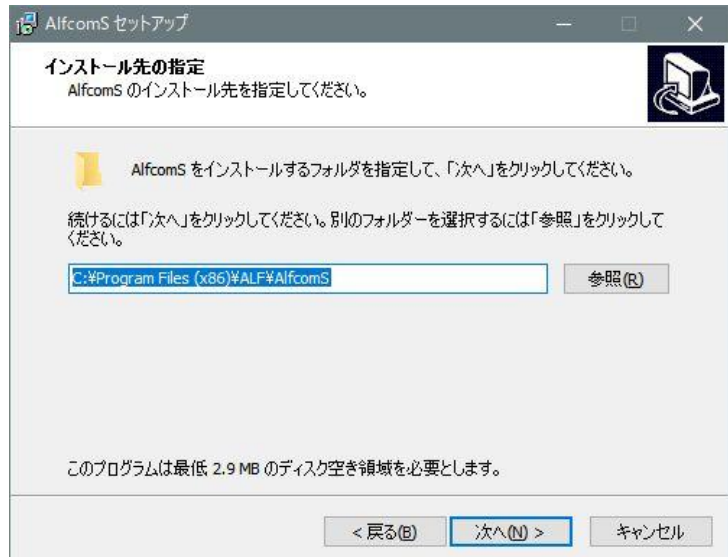


⑤ AlcomSセットアップウィザードが開きますので「次へ」を押します



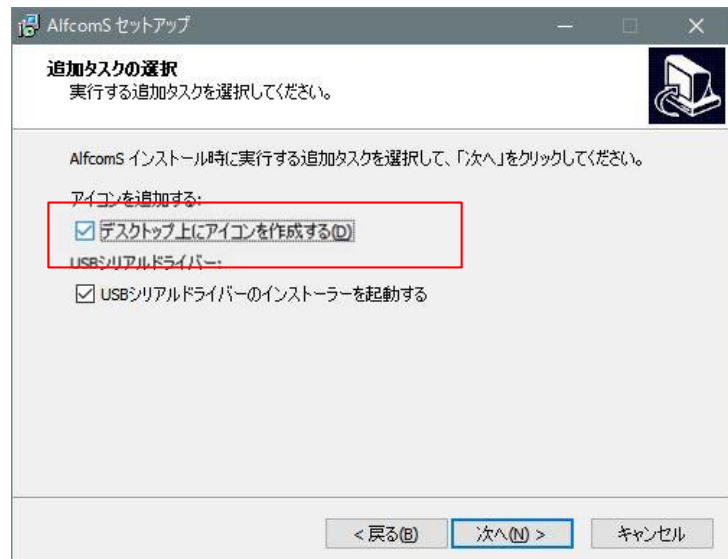
ドライバのインストール - ②

⑥ 「次へ」を押します



⑦ デスクトップ上にアイコンを
作成するに チェックを入れます

⑧ 「次へ」を押します



⑨ 「インストール」を押します

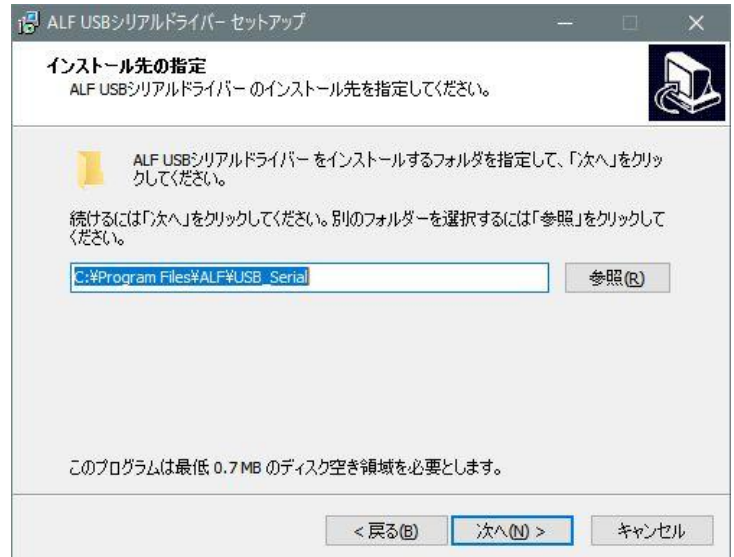


ドライバのインストール- ③

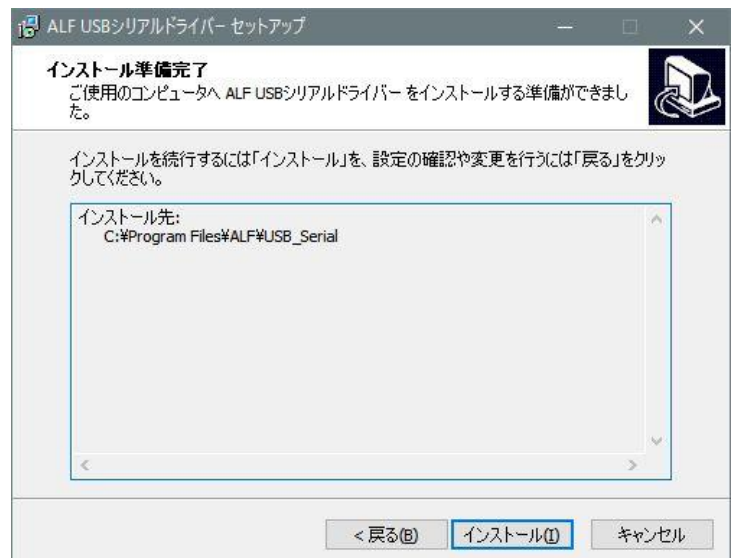
- ⑩ ALF USBシリアルドライバーセット
アップウィザードの開始が表示されます
「次へ」を押します



- ⑪ 「次へ」を押します

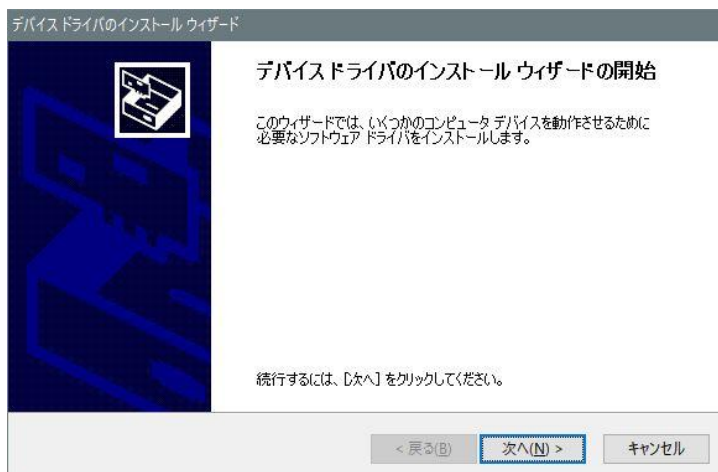


- ⑫ 「インストール」を押します



ドライバのインストール - ④

- ⑬ デバイスドライバーインストール
ウィザードの開始が表示されます
「次へ」を押します



- ⑭ 「完了」を押します



- ⑮ 「完了」を押します

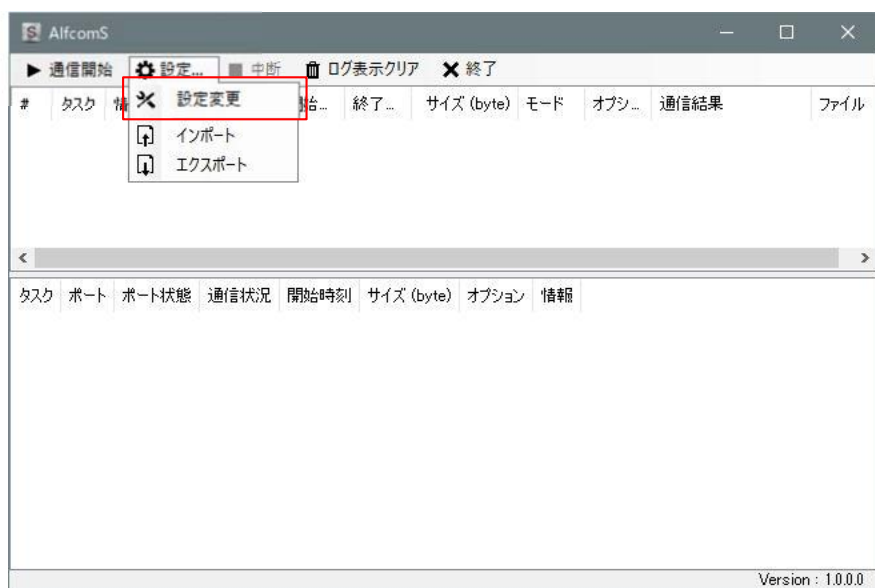


ドライバのインストール-⑤

⑯「完了」を押します



⑰ ALFcomSが開きます
「設定変更」を押します

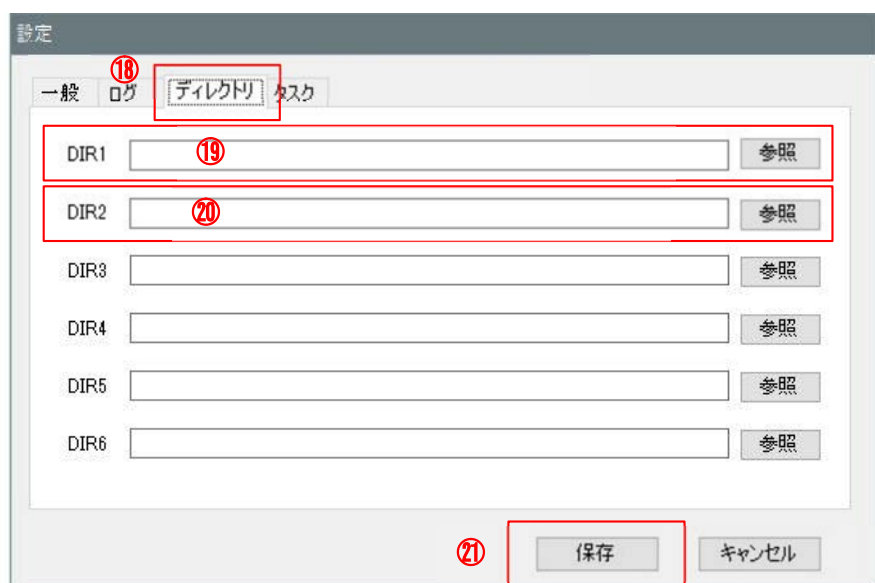


⑱「ディレクトリ」を押します

⑲「DIR1」に下記を入力
「C:\BCPOS\DATA\」

⑳「DIR2」に下記を入力
「C:\BCPOS\Master\」
※Masterフォルダが無い場合は
先にMasterフォルダを作成して
下さい

㉑「保存」を押して終了します



日時設定(ハンディ利用開始前に必ず行う)

ハンディターミナルとパソコンの日時を合わせることで、正確な業務が可能となります

■ 参照時刻

デスクトップ画面右下の「時間」表示を参照して日時を正確に合わせます。

※秒単位については、下記「時刻合わせの必要性」をごらんになって頂き、判断してください



■ 日付設定

① TOP画面で[./-]と「ENT」を同時に押します

- 00:00
1. 売上
 2. 仕入
 3. 在庫(棚卸)
 4. 発注
 5. 在庫(移入)
 6. 在庫(移出)
 7. 単品スキャン
 8. マスタ受信

② 設定画面になりますテンキーの[1]を押してください

- 00:00
1. 日時設定
 2. 入力設定
 3. パワーオフ設定
 4. 通信設定
 5. 削除表示

③ 日付設定画面になります
日付: 西暦下2桁 / 月2桁 / 日2桁
時刻: yy / mm / dd 表示
テンキーを使い現在日付を入力します
日付・時刻共に最後は[ENT]を押して決定します
設定後[F1]を押すとTOP画面に戻ります



◆時刻合わせの必要性(棚卸)

BCPOSの在庫管理オプションには、営業を行いながら、棚卸しを行い販売された商品を調整する「差分調整」の機能があります

こちらの機能を利用する(営業しながら棚卸しを行う)際には、在庫数を読取った時間と、在庫数を読取った後の販売等で、在庫数が変更された商品を調整する為にBCPOSとハンディターミナルの時間が正確に合っている必要がございます

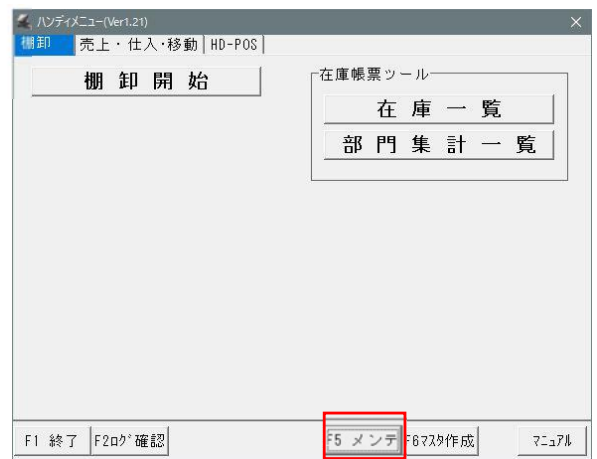
機種設定(BCPOS)

BCPOSで使用するハンディターミナルの機種を設定します
以降の「棚卸マニュアル」は、在庫管理オプションをご利用頂いている事が前提です

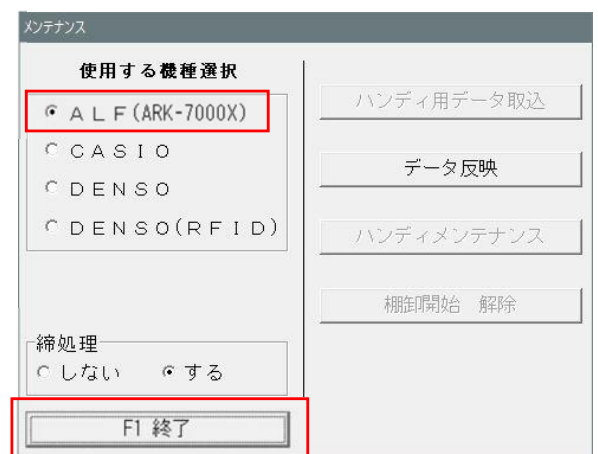
- ① BCPOS開始メニュー「F7 ハンディメニュー」を押してください



- ② ハンディメニューが開きます
下部タブの「F5メンテ」を押してください



- ③ メンテナンスが開きますので、使用する機種選択で「ALF(ARK-7000X)」を選択してください



- ④ 「F1 終了」をクリックして保存してください

上記設定は、同一機種のハンディターミナルを使用する場合には、初回のみで次回は不要です

マスタ作成 - 解説(BCPOS)

ハンディの商品マスタ登録上限は7万件になります。7万件を超える場合には、BCPOSの商品マスタを各種条件で範囲指定して作成してください

基本的に、BCPOSに登録されている商品マスタが7万件以内であれば「コード指定」で、ご利用中のバーコードを選択して、「F10 実行」してください

The screenshot shows a software window titled "ハンディ用マスタ作成(ALF用)". It contains several rows of selection options:

- コード指定: JAN, インストア, バーコード
- 部門指定: 全部, 指定, [000] ~ [999]
- 商品コード範囲指定: 全部, 指定, [000000] ~ [999999]
- 枝番指定: 全部, 指定, [000] ~ [999]
- 発売日指定: 全部, 指定, [2021/05/17] ~ [2021/05/17]
- 登録日指定: 全部, 指定, [2021/05/17] ~ [2021/05/17]
- 価格設定日指定: 全部, 指定, [2021/05/17] ~ [2021/05/17]
- 仕入業務: しない, する
- 販売価格指定: 標準価格, 特価 1, 特価 2
- 仕入価格指定: 標準仕入価格, 特価仕入 1, 特価仕入 2
- 無在庫出力: する, しない

At the bottom, there is a button "F1 終了" and a "文字" field with "F10 実行" next to it. The version "Ver 1.20" is shown in the bottom right corner.

■ ハンディ用マスタ作成画面解説

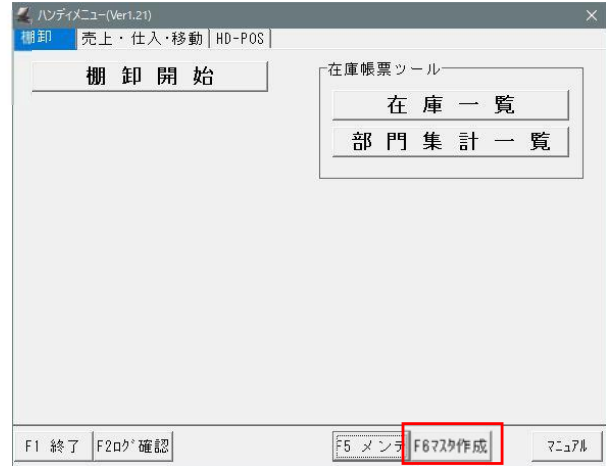
BCPOSに登録されている商品マスタから範囲指定してハンディ用に出力する場合には下記を参照してください

コード指定	BCPOS商品コードの他に、読取るバーコードがある場合、種別を指定します
部門指定	全部・・・すべてを対象とします 指定・・・右側に部門選択ボックスが表示されます。指定できるのは単一部門のみです
商品コード範囲指定	全部・・・すべてを対象とします 指定・・・商品コードの範囲を指定します
枝番範囲指定	全部・・・すべてを対象とします 指定・・・枝番の範囲を指定します
発売日指定	全部・・・すべてを対象とします 指定・・・発売日の範囲を指定します
登録日指定	全部・・・すべてを対象とします 指定・・・登録日の範囲を指定します
価格設定日指定	全部・・・すべてを対象とします 指定・・・価格設定日範囲を指定します
販売価格指定	マスタから使用する販売価格を指定します
仕入価格指定	販売原価として、使用する仕入価格を指定します
無在庫出力	する・・・在庫が0の商品も範囲対象とします しない・・・在庫が0の商品を範囲から除外します

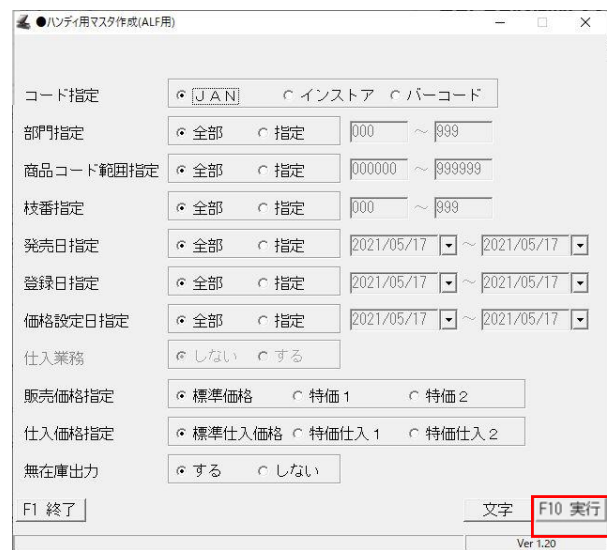
商品マスタ受信(ハンディ)- ①

ハンディで利用する「商品マスタ」をBCPOSで作成します

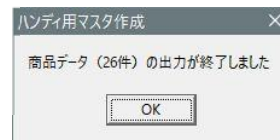
- ① ハンディメニューが開きます
「F6マスタ作成」を押してください



- ② 作成する条件を指定して「F10 実行」を押してください



- ③ ハンディ用マスタ作成
「商品データ(〇〇件)の出力が終了しました」と表示されますので「OK」を押してください



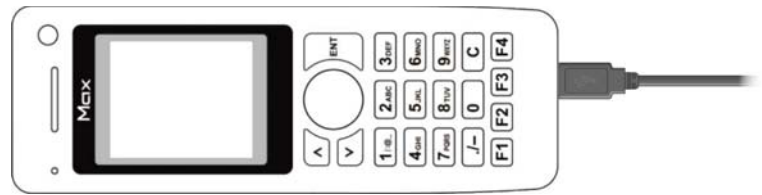
- ④ ALFcomSが開きますので
「通信開始」を押します



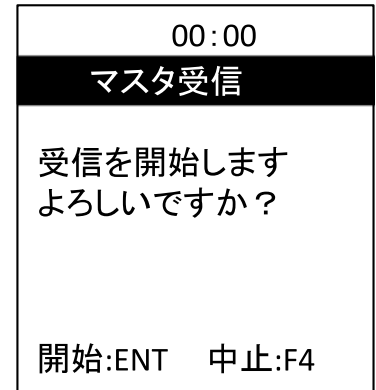
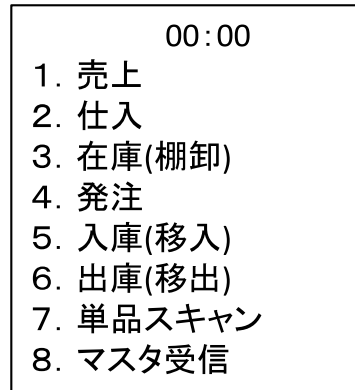
商品マスタ受信(ハンディ)- ②

BCPOSで作成した「商品マスタ」をハンディで受信します

- ⑤ パソコンとハンディをUSBケーブルで接続し、電源を入れます



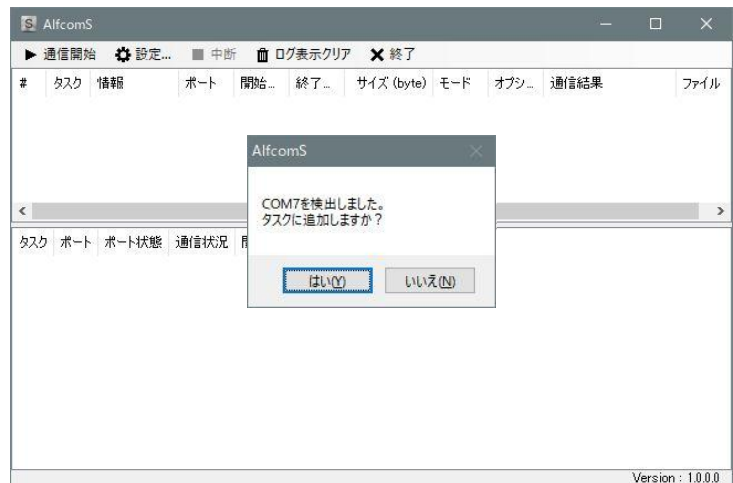
- ⑥ マスタ受信
10キーで[8]を押してください



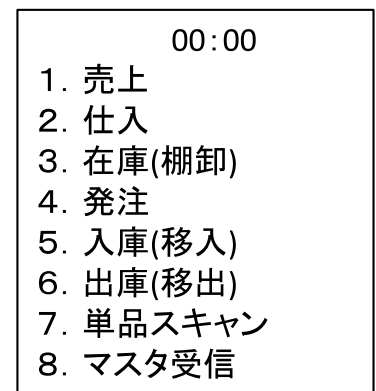
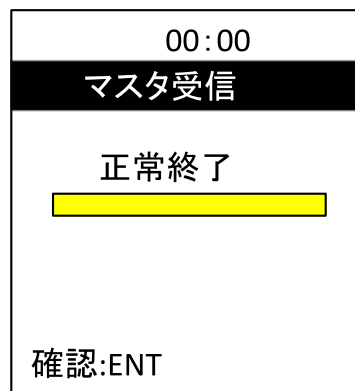
- ⑦ マスタ受信「ENT」を押します

- ⑧ パソコン側
「COM O を検出しました・・・」
「はい」を押してください

※初回接続時と、USBケーブルを違うポートに接続時に、
「COM O を検出しました・・・」と表示
USBケーブルを同じ場所に接続時は表示されません



- ⑨ 正常終了「ENT」を押してTOP画面に戻ります



例) 在庫データ読取り - ①

営業時間内に棚卸し作業を行う場合には、ハンディでのデータ読取りを行う前に、棚卸開始日時をBCPOSに記録する必要があります

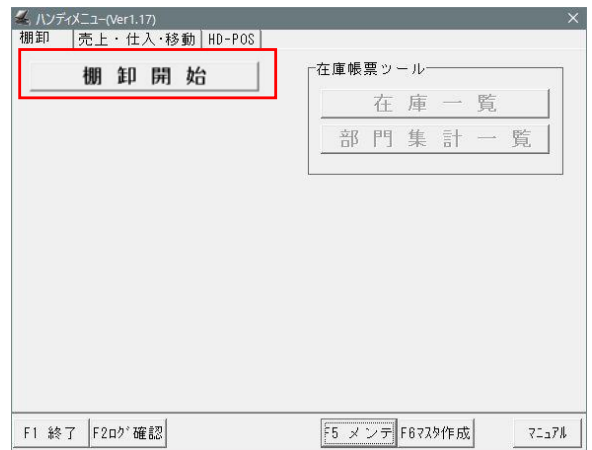
- ① BCPOS開始メニュー「F7 ハンディメニュー」を押してください



- ② ハンディメニューより「棚卸開始」ボタンを押します
これにより、BCPOSに棚卸し作業の開始時刻が記録され、これ以降に在庫数を読取った商品が販売された場合には、P-18「差分調整」で在庫数が調整されます

【注意】

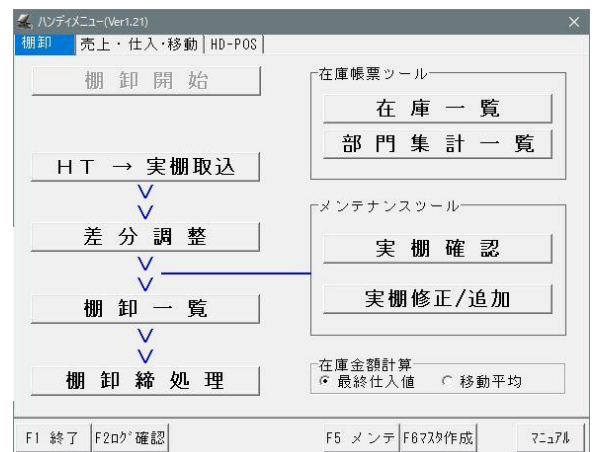
ハンディターミナルで在庫を読取る前に必ず「棚卸開始」ボタンを押してください



「棚卸開始」を押すことで他のメニューが表示されます

※棚卸業務が「棚卸締処理」の手順まで終わらないと、こちらの画面が表示された状態になります

「棚卸締処理」が終了すると②の画面に戻ります

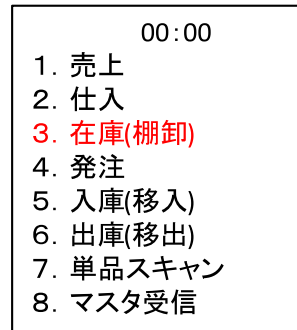


例) 在庫データ読取り - ②

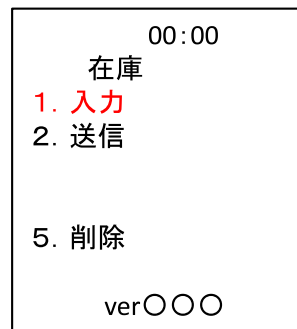
各種業務データの読取り、修正、削除、送信等は、基本的に全て同じ操作方法になります。

■ データの読取り

① ハンディ業務メニューTOP画面から、在庫(棚卸)を選択しますので、テンキーで[3]を押します



② 入力[1]を押してください



③ 棚番を使用する場合には、棚番(～10桁)をスキャンまたは、入力して[ENT]を押してください。
棚番を使用しない場合には何も入力しないで[ENT]を押して下さい
次回以降は、同じ棚番(棚番不要)が入力され、商品コードを連続して読み込みます



【棚番について】

ハンディからPCへデータ転送した後で、棚番検索により確認及び削除が可能になります

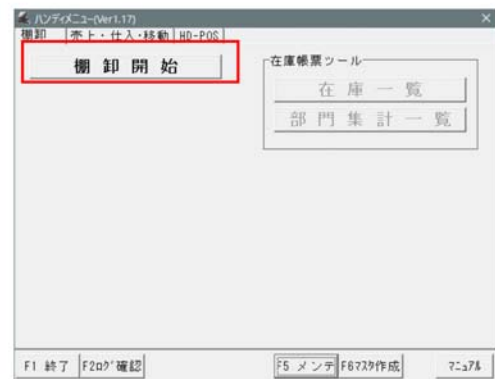
棚番は10文字までの英数字を入力可能です

アルファベットを入力する場合は、「F3」を押してから携帯電話方式で入力して下さい

※文字確定は「ENT」を押します

【確認】

「棚卸開始」をクリックしていないと、棚卸し中に販売した商品等の在庫調整ができなくなりますので、ご確認ください



例)在庫データ読取り - ③

- ④ コード:にカーソルがあたっている状態で
サイドまたは中央のスキャンボタンを押します

- ⑤ 商品を読み出しますので「在庫数」を入力して
「ENT」を押します

※取込んだ商品マスタに無いコード読取り時
商品マスタに無い商品を読み込むと「エラー音」がなり
取り込めません

以降、在庫を読み取って行きます

00:00	
在庫業務(入力)	
T:	
コード:	
201000016000	
胃酸/調整薬	
数:40	
	0件
F1	F2 F3 F4
戻る	数字

■ 読取った商品の、入力した在庫数の確認と「更新 /削除」

各種業務データの読取り途中等で、読取ったデータを修正したり削除をする場合の
データ呼び出し方法は、モードを「検索」にして、修正・削除を行いたい商品コード
を読み取って呼び出します

- ① 入力画面の待受け時に「F2」を押します

00:00	
在庫業務(入力)	
T:	
コード:	
	数: 0
	0件
F1	F2 F3 F4
戻る	検索

- ② 上のメニューが在庫業務(入力)から在庫業務(検索)に
変わります
対象の商品を読み取ります
登録した在庫数を表示します

データを削除する場合「F3」を押します
数量を変更する場合は正しい数量を入力して「ENT」を
押します

更新/削除が終わったら「F1」を押します
上のメニューが在庫業務(入力)に戻ります

00:00	
在庫業務(検索)	
T:	
コード:	
201000016000	
胃酸/調整薬	
数:40	
	0件
F1	F2 F3 F4
戻る	削除

◆営業時間内の棚卸し(在庫読取りについて)

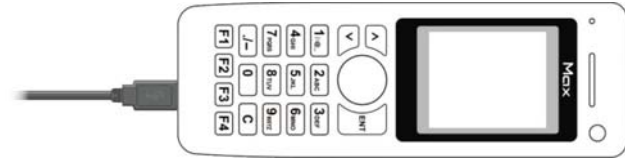
P-18「差分調整」は、営業中の棚卸しで在庫数を読み取った後に、商品が販売されてしまった商品の
在庫数調整を行います。同じ商品が2箇所以上にある場合には、最後に読取った時刻を
基準として差分調整を行います

この為、同一商品が2箇所以上に在庫がある場合、可能な限り同一時刻で読取る必要があります

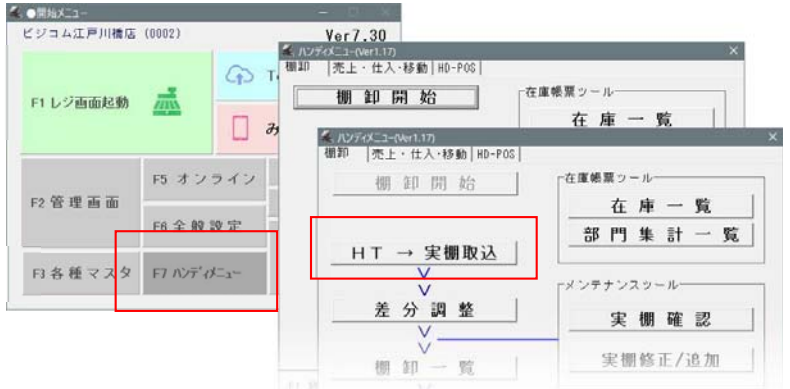
① HT → 実棚取込み (ハンディデータ転送)

棚卸データをBCPOSに転送しますので、順を追ってハンディとBCPOSを操作してください

① ハンディを、PCIにUSB接続してください



② BCPOS開始メニュー「F7 ハンディメニュー」を押してください



③ [HT → 実棚取込]を押してください

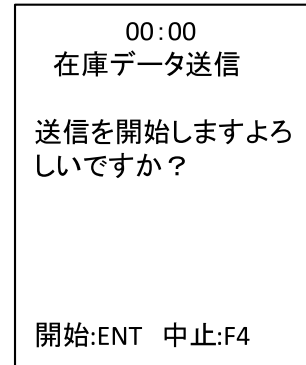
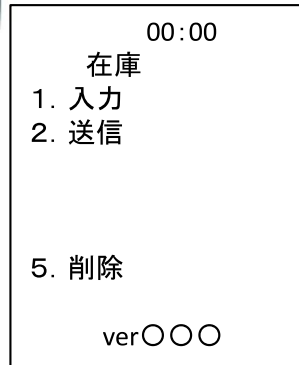
④ AlfcomSが開きます「通信開始」を押してください



⑤ 在庫入力画面の場合「F1」を押します

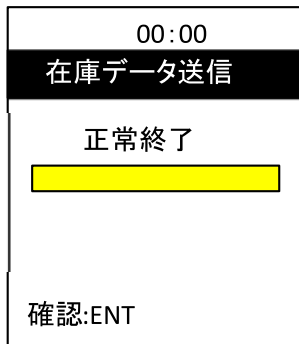
「2.送信」を押します

「ENT」を押します

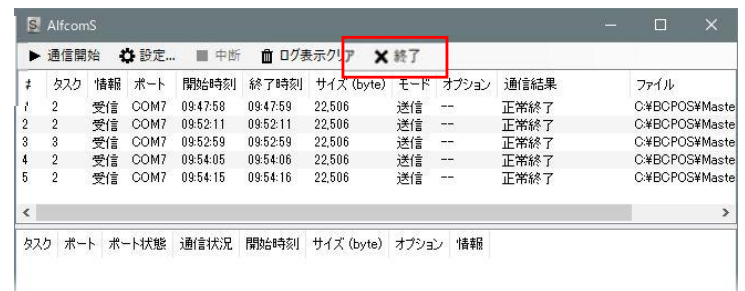


⑥ 正常終了

「ENT」を押します



⑦ 「終了」を押します



② 差分調整 (棚卸中の変動在庫数調整)

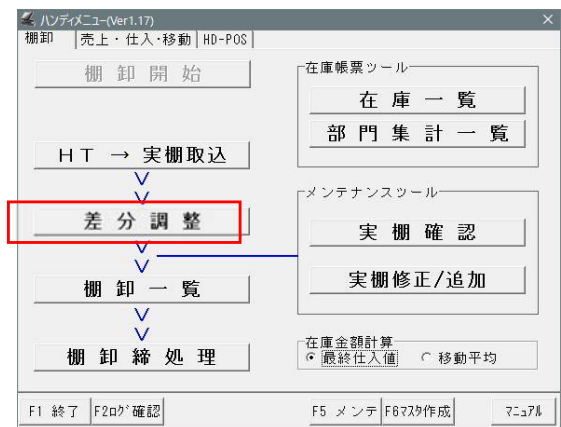
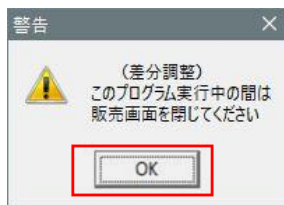
営業しながら棚卸入力を行う場合、実棚数を入力した商品が、後から販売される可能性があります

その場合、そのまま実在庫を反映させてしまうと、誤差が生じてしまいますので「差分調整」作業にて、ハンディで読取りした日時と、販売された日時を比較して実棚数の自動調整を行います

※営業中の棚卸ではない場合には「差分調整」は不要ですが、実行しても構いません
※後述の棚卸手入力後に「差分調整」を行うと手入力分が削除されますのでご注意ください

① ハンディメニューの「差分調整」を選択

レジ販売画面を開いている場合は閉じてから「OK」を押します

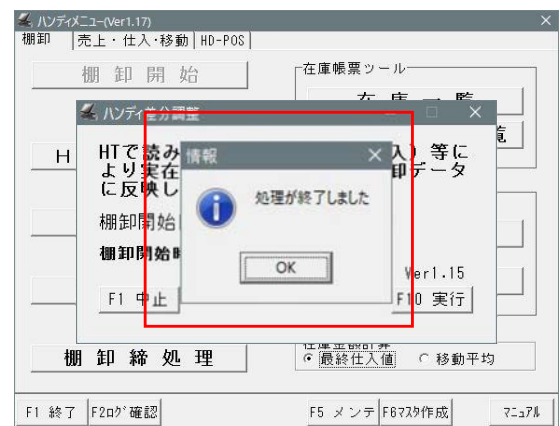


② 「棚卸開始」ボタンを押した時点の日付と伝票番号が表示されます

表示内容に問題がなければ「F10実行」を押します



③ 終了表示が出たら「OK」を押して終了です

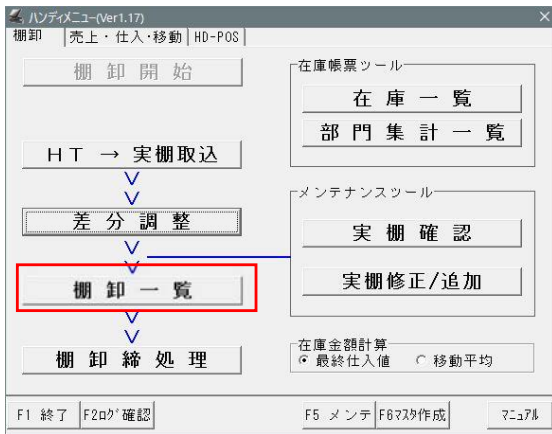


※差分調整後の在庫データ(実棚在庫)確認はP-21参照

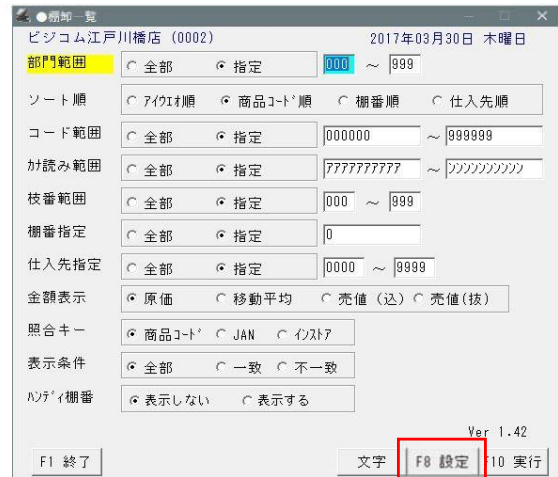
③ 棚卸一覧 (理論在庫と実在庫の比較)

ハンディで読込んだ実在庫と、BCPOSの理論在庫を比較する「棚卸一覧」を表示します

① ハンディメニューの「棚卸一覧」を選択

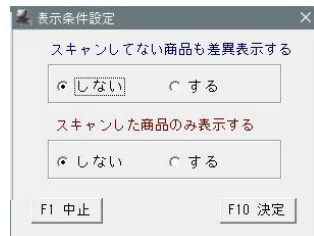


② 棚卸一覧が表示されます。一覧表の表示条件を選択して「F10実行をおしてください



■ 「F8設定」について

「F8設定」を押すと、「表示条件設定」が開きます



「スキャンしていない商品も差異表示する」を「する」にした場合在庫数が0で表示され、理論在庫が残っている場合には、「在庫差異」にマイナス表示されます
設定が保持されますので変更する場合には、「F8設定」で、再度設定してください

③ 「棚卸一覧」が表示されます。

- ・理論在庫数 ・実在庫数
- ・在庫差異 ・原価 ・棚番
- ・原価 × 差異 (在庫差異金額)
- ・差異数の合計
- ・差異金額の合計金額・・・等

が一覧表示されます

※テキストでの保存、印刷が可能

在庫差異を見て、実在庫の修正を行いたい場合等は、後述P-23の「棚卸しデータ修正」を行ってください

棚卸一覧 理論在庫、実在庫にマスクがないもの(空白)は在庫差異が出せません。

部門:全部 表示条件:全部 ソート順:商品コード 照合キー:商コード 仕入先:全部
コード範囲:全部 加範囲:全部 枝番:全部

実在庫=棚卸データの在庫 理論在庫=商品データの在庫

商品コード	JAN	メーカー名	商品名	理論在庫	実在庫
402-000001-000	4912345000101	白陽衣料	ジャケット/S	56	56
402-000002-000	4912345000149	白陽衣料	ジャケット/M	48	48
402-000003-000	4901777130340	白陽衣料	ジャケット/L	43	43
404-000003-000	4912345000231	白陽衣料	BDジャケット/フレイン	42	42
404-000004-000	4912345000248	白陽衣料	Tシャツ/01	43	43
404-000005-000	4912345000255	白陽衣料	Tシャツ/02	30	30
404-000006-000	4912345000200	白陽衣料	Tシャツ/03	41	40
406-000002-000	4912345000109	白陽衣料	ダッフルコート	50	50
406-000003-000	49123450001016	白陽衣料	モッズコート	49	49
402-000001-000	4912345000020	白陽衣料	ジャケット/01	50	50

該当本数 108 本 理論在庫計 5336 本 在庫差異計 -4784 本 差異金額計 -8571000
実在庫計 552 本 実在庫金額計 3471720

在庫管理フラグがOFFのデータは表示しません

F1戻る F4 テキスト F5 DOWN F6 UP F7 先頭 F8 最後 F9 印刷

実在庫をハンディターミナルで読取る際に、棚番入力し、ハンディ棚番図

②下段)を表示にすると右図の様に表示されます

※棚卸一覧表は、テキストでの保存、印刷が可能です

棚卸一覧 理論在庫、実在庫にマスクがないもの(空白)は在庫差異が出せません。

部門:全部 表示条件:全部 ソート順:商品コード 照合キー:商コード 仕入先:全部
コード範囲:全部 加範囲:全部 枝番:全部

実在庫=棚卸データの在庫 理論在庫=商品データの在庫

商品コード	JAN	メーカー名	商品名	理論在庫	実在庫	在庫差異	原価	差異×原価
402-000001-000	491234500	白陽衣料	ジャケット/S A12	8	8	0	14000	0
402-000002-000	491234500	白陽衣料	ジャケット/M A12	9	7	-2	14000	-28000
402-000003-000	490177713	白陽衣料	ジャケット/L A12	7	6	-1	14000	-14000
403-000001-000	491234500	白陽衣料	デニム/スト C75	9	8	-1	6200	-6200
403-000002-000	491234500	白陽衣料	デニム/ス C75	9	9	0	6200	0

該当本数 108 本 理論在庫計 5336 本 在庫差異計 -4784 本 差異金額計 -8571000
実在庫計 552 本 実在庫金額計 3471720

在庫管理フラグがOFFのデータは表示しません

F1戻る F4 テキスト F5 DOWN F6 UP F7 先頭 F8 最後 F9 印刷

④ 棚卸締処理 (実在庫の反映)

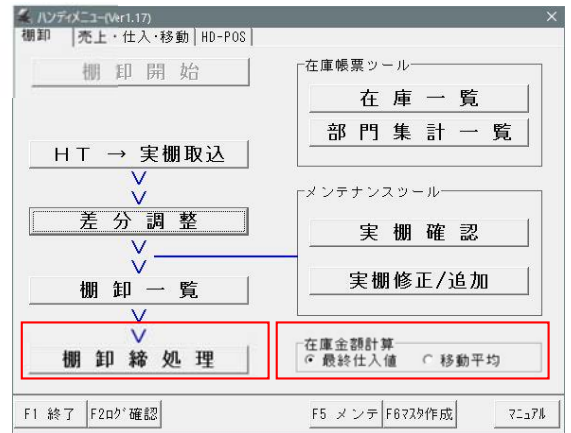
理論在庫 (現在のBCPOS在庫) を0にし、ハンディで読取った実在庫を反映させて、在庫金額を再計算します

① 「在庫金額計算」で、計算方法を選択
最終仕入値または 移動平均

② 「棚卸締処理」をクリック

在庫評価	説明	備考
最終仕入値	商品マスタの現在の仕入値	主に仕入値の変動が無い場合に使用
移動平均	移動平均により計算した在庫単価	主に仕入値の変動が有る場合に使用 適正な在庫単価による在庫金額の把握が可能

③ 在庫一括変更が表示されますので、そのまま「F10実行」を押す



クラウド型店舗本部管理システム(TenpoVisor)の利用が

「利用なし」

「利用あり」

④ 締め処理が終了しました



④ 「TenpoVisorに在庫を送信します」と表示されますので「OK」



⑤ 締め処理が終了しました



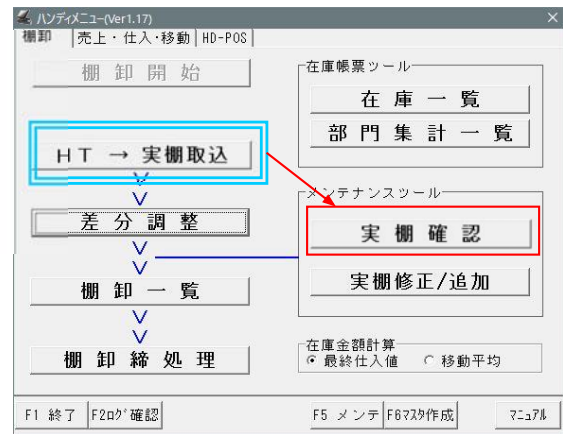
実棚確認 (ハンディデータの確認)

ハンディで読取った実在庫の確認と、棚卸調整後のハンディで読取った実在庫と棚卸し中に変動のあった在庫の確認ができます

「ハンディで読取った実在庫」の確認

- ① 「HT→実棚取込」
- ② 「実棚確認」

ハンディターミナルで読取った在庫だけを表示します



●実棚確認

ショップ名: ビジコム江戸川橋店

金額指定 仕入値 移動平均 売値税抜 売値税込

NO	JANコード	商品コード	商品名	数量	金額
1	4912345000149	402-000002-000	ジャケット/M	5	70000
2	4912345000125	404-000001-000	BDジャケット/スライ*	20	30000
3	4912345000132	404-000002-000	BDジャケット/トット	30	45000
4	4912345000248	404-000004-000	Tジャケット/01	40	55200
5	4912345000231	404-000003-000	BDジャケット/ブレイン	50	75000

取込済データ数=10件 数量合計 391 金額合計 ¥2,549,000 Ver1.08

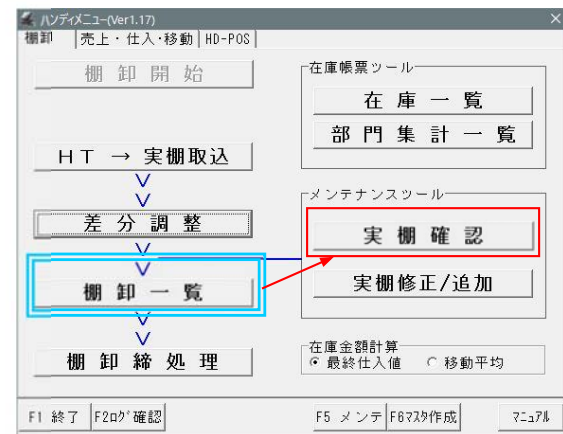
F1 終了 F3 検索 F9 印刷

「ハンディで読取った実在庫」と「棚卸し中に変動のあった在庫」の確認

- ① 「HT→実棚取込」
- ② 「差分調整」
- ③ 「実棚確認」

ハンディターミナルで読取った在庫と、棚卸し中に、販売・仕入・移動等で変動があった商品の在庫数を表示します

例) 赤枠が在庫変動があった商品(処理の時系列順表示)



例) 赤枠が在庫変動があった商品(処理の時系列順表示)

上図「HT→実棚」直後の棚卸チェックリストから増加した項目

●実棚確認

ショップ名: ビジコム江戸川橋店

金額指定 仕入値 移動平均 売値税抜 売値税込

NO	JANコード	商品コード	商品名	数量	金額
1	4912345000149	402-000002-000	ジャケット/M	5	70000
2	4912345000125	404-000001-000	BDジャケット/スライ*	20	30000
3	4912345000132	404-000002-000	BDジャケット/トット	30	45000
4	4912345000248	404-000004-000	Tジャケット/01	40	55200
5	4912345000231	404-000003-000	BDジャケット/ブレイン	50	75000

取込済データ数=10件 数量合計 391 金額合計 ¥2,549,000 Ver1.08

F1 終了 F3 検索 F9 印刷

※ 表の右「金額」は、上段の「仕入値」「移動平均」「売値税抜」「売値税込」に準じます

取り込み済み(ハンディデータの確認)

「① HT→実棚取込み(ハンディデータ転送)」(P-17)の処理単位(一回の取込みで複数台のハンディデータを取り込んだ場合は、合計台数分)で、取込み済みのハンディデータを確認する事ができ、取込みの際にエラーがあると、強制的に表示されます

- ① ハンディメニュー「F2 ログ確認」を押すと、フォルダが表示されますので対象のファイルを選択します
(ファイル名について「HANDY + 年 + 月 + 日 + 時 + 分 + 秒」でファイルが作成されています)



- ② 対象の取込み済みハンディデータを表示します

※ 区分欄に「追加」と表示されている商品は、コードを回以上読取っています

間違えている場合は、次項の「実棚修正追加(棚卸データ修正)」で修正を行ってください

□ エラー無し

No.	区分	取込コード	数量	金額	処理結果
Handy140628100928.dat					
1	新規	30000009000	8	0	0正常取込
2	追加	201000014000	5	0	0正常取込
3	追加	201000015000	3	0	0正常取込
4	新規	201000017000	10	0	0正常取込
5	追加	201000008000	9	0	0正常取込
6	新規	201000004000	12	0	0正常取込
7	新規	201000004005	9	0	0正常取込
8	新規	201000004008	12	0	0正常取込
9	新規	201000024000	5	0	0正常取込
10	新規	300000006000	22	0	0正常取込
11	新規	201000004006	5	0	0正常取込
12	追加	201000004008	8	0	0正常取込

□ エラーデータ存在時

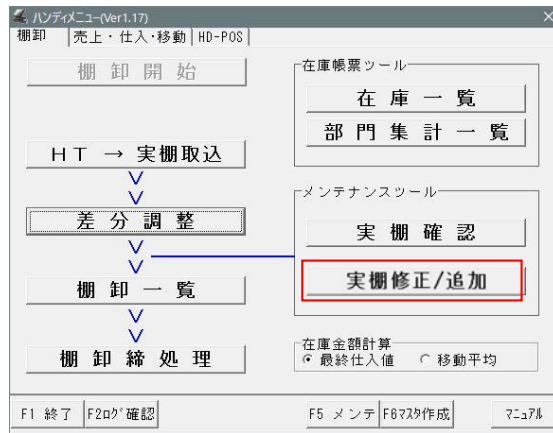
No.	区分	取込コード	数量	金額	処理結果
Handy140625120440.dat					
1	新規	201000014000	5	0	0正常取込
2	新規	201000015000	4	0	0正常取込
3	新規	201000004009	7	0	0正常取込
4	新規	201000009000	8	0	0正常取込
5	NG	4902102101822	3	0	0商品マスタ未登録
6	NG	4907754103293	2	0	0商品マスタ未登録
計6件	更新4件	未更新2件			
Handy140625120607.dat					
1	新規	201000010000	3	0	0正常取込
2	追加	201000015000	5	0	0正常取込
3	NG	4902105040034	5	0	0商品マスタ未登録
計3件	更新2件	未更新1件			

実棚修正 / 追加 (棚卸データ修正)

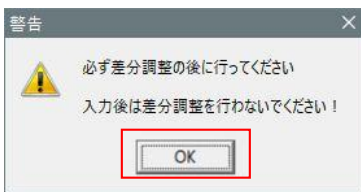
データベースへ取り込んだ後に読取り忘れや、数量変更がある場合にハンディを使用せずに手入力で追加や数量の修正を行えます

※差分調整後に行ってください 「差分調整前に行うと入力したデータが消えます」

① ハンディメニューの「実棚修正/追加」を選択



② 追加前に「差分調整」が済んでいるか、「差分調整」の必要が無い場合は「OK」を押して進んで下さい



③ 品番の欄でコードをスキャンするか、コードを入力して下さい

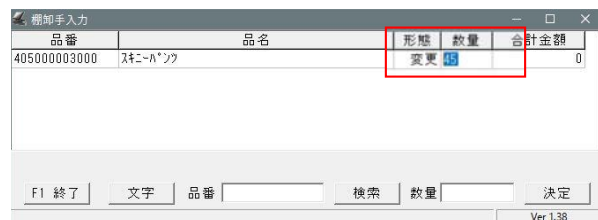
商品が表示されます



④ 数量の欄へカーソルが移りますので、正しい数量を入力して下さい

(例:現在の数量が12だが、商品を2個読取りもれしていたので2個追加したい場合は、数量に14を入力します)

▼マイナス入力も可能です



入力終了しましたら、キーボードで「Enter」ボタンを2回押して下さい



⑤ 改行され、空白行が追加されたら、商品の修正/追加作業が完了になります

引き続き訂正したい場合は④~の手順を繰り返して下さい

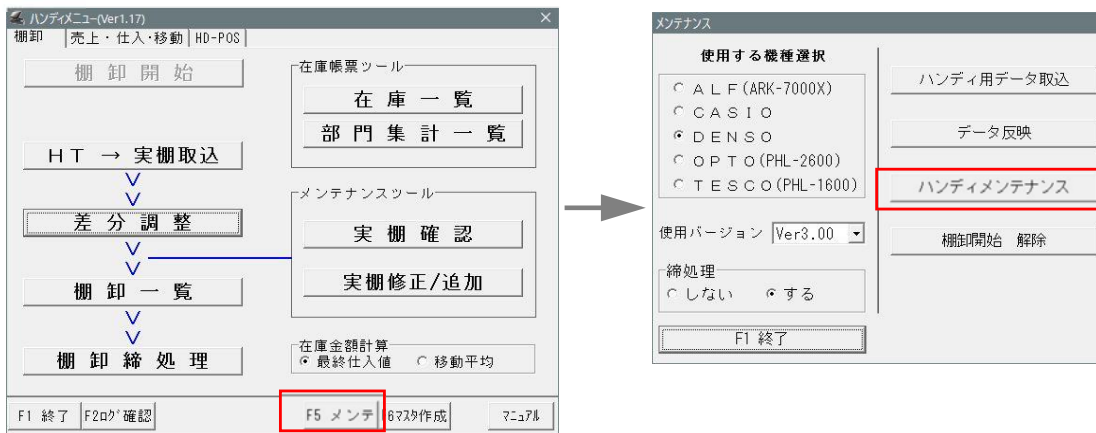
終わりましたら「F1終了」を押して下さい



ハンディメンテナンス(棚番運用時等)

データベースへ取り込んだ後で棚番(追加項目)毎に読み込んだ商品を確認したり、商品コードや棚番(追加項目)で、範囲指定後ハンディデータを一括で削除することが可能
棚卸する必要の無い棚を読み込んでしまったような場合に特定の棚の分を削除できます

① ハンディメニューの「ハンディメンテナンス」を選択



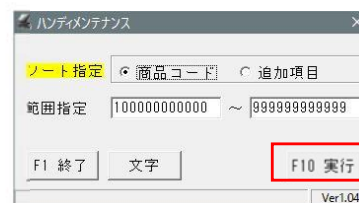
② ハンディメンテナンスが開きますので、条件を指定して「F10 実行」を押します

【ソート指定】

「商品コード」or「追加項目」を選択します

【範囲指定】

「商品コードの範囲」or「追加項目の範囲」条件を指定して「F10 実行」を押します

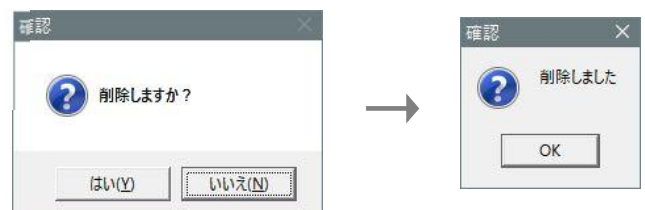


③ 画面に対象データが表示されます

データ確認のみの場合は「F1終了」を押します
内容を確認し削除する場合は「F10 削除」を押して下さい

商品コード	商品名	JAN	追加コード	金額	数量	属性	日時分秒	マイナス区分
40200002000	ジャケットM	4912345000149		0	5	3	20170330185100	0
40300002000	デニム/ルーズ	4912345000194		0	50	3	20170330185138	0
40300003000	デニム/ストウウェア	4912345000217		0	69	3	20170330185135	0
40400001000	BDジャケット/ライ	4912345000125		0	20	3	20170330185103	0
40400002000	BDジャケット	4912345000132		0	30	3	20170330185108	0
40400003000	BDジャケット/レイン	4912345000231		0	50	3	20170330185118	0
40400004000	ジャケット/01	4912345000248		0	40	3	20170330185112	0
40500003000	スキニーパンツ	4912345000217		0	45	3	20170330185123	0
40600001000	ピーコート	4912345000224		0	40	3	20170330185127	0
40600002000	ダッフルコート	4912345001009		0	43	3	20170330185131	0

④ 確認画面が表示されますので「はい」を押すと表示されたデータが削除されます



【メンテナンスについて】

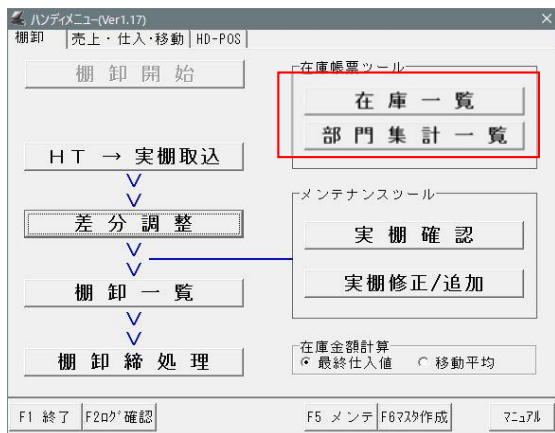
→ 以前の棚卸や棚卸以外のデータの取込・反映

→ 主に、棚卸を途中で解除する場合や、誤って「棚卸開始」を押してしまった際の棚卸解除ボタン

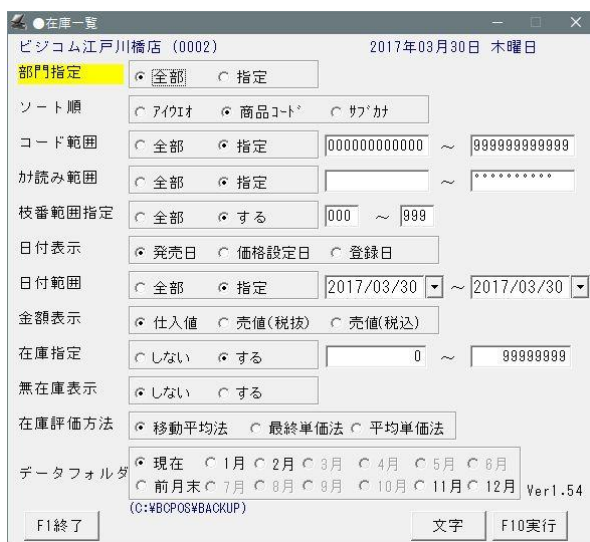
帳票関連 - ①

在庫関連の各種帳票を出力することができます

ハンディメニュー「在庫帳票ツール」から下記、帳票の出力が可能です



① 「在庫一覧」商品の在庫数、在庫金額を各条件指定をして帳票出力します



棚卸一覧 理論在庫、実在庫にマスタがないもの(空白)は在庫差異が出せません。

部門: 全部 表示条件: 全部 ソート順: 商品コード 照合先: 商コード 仕入先: 全部
 コード範囲: 全部 枝番範囲: 全部 枝番: 全部

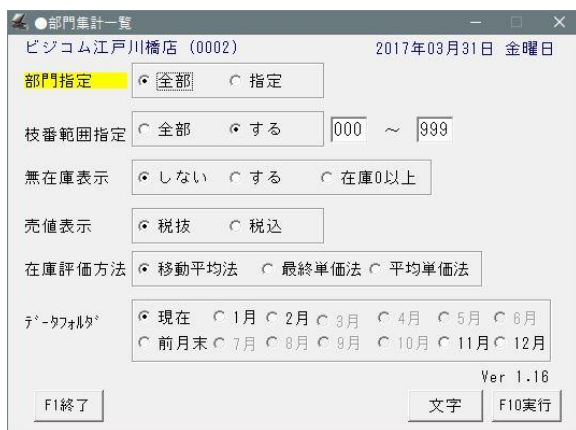
商品コード	JAN	メーカー名	商品名	理論在庫	実在庫	在庫差異
403-000002-000	4912345000194	白陽衣料	デニム/ルース	48	50	2
403-000003-000	4912345000217	白陽衣料	デニム/ストライプ	46	69	23
404-000001-000	4912345000125	白陽衣料	BDジャケット	49	20	-29
404-000002-000	4912345000132	白陽衣料	BDジャケット	49	30	-19
404-000003-000	4912345000231	白陽衣料	BDジャケット	48	50	4
404-000004-000	4912345000248	白陽衣料	Tシャツ/01	48	40	-8
404-000005-000	4912345000255	白陽衣料	Tシャツ/02	46	46	0
404-000006-000	4912345000200	白陽衣料	Tシャツ/03	46	46	0
405-000001-000	4912345001023	白陽衣料	ウーロン	46	46	0
405-000002-000	4912345001030	白陽衣料	カーボン	48	48	0
405-000003-000	4912345000217	白陽衣料	スニーカー	47	44	-3
407-000003-000	4912345000279	白陽衣料	カジュアルバック	48	48	0
407-000004-000	4912345000286	白陽衣料	ビジネスバッグ	48	48	0

該当本数 108 本 理論在庫計 5337 本 在庫差異計 -4946 本 差異金額計 -9304140
 実在庫計 391 本 実在庫金額計 2549000

在庫管理フラグがOFFのデータは表示しません

F1戻る F4 戻す F5 DOWN F6 UP F7 先頭 F8 最後 F9 印刷

② 「部門集計一覧」部門毎の在庫数、在庫金額を各条件指定して帳票出力します



部門集計一覧 (移動平均法)

無在庫表示 (しない) 枝番 000~999 該当部門数 13

部門	仕入値合計	売値合計	在庫金額合計	在庫合計
201	844850	1610000	844850	1400
300	1740450	3310000	1740450	1300
401	1237500	2345404	1237500	189
402	2030000	3690975	2030000	145
403	874200	930831	874200	141
404	409200	1222873	409200	284
405	504000	1202433	504000	141
406	2171000	5010407	2171000	143
407	520940	1177854	520940	194
511	90000	235000	90000	150
711	803000	1921500	803000	600
990	628000	1250900	628000	400

仕入値合計 ¥11,853,140 売値合計 ¥24,632,977
 在庫金額合計 ¥11,853,140 在庫計 5337本

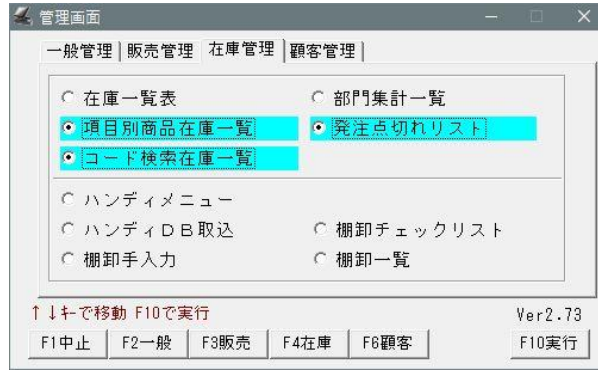
売値合計=税抜価格×在庫 仕入値合計=仕入値×在庫

F1戻る F3戻す F9印刷

帳票関連 - ②

在庫管理メニューからも各種帳票を出力することができます

BCPOS「管理メニュー」>「在庫管理」から
下記、帳票の出力が可能です



「項目別在庫一覧」詳細な在庫一覧を見る為に、仕入先・メーカー・サブジャンルから在庫数を表示します



商品コード	仕入先名	商品名	商品名サブ	販売金額	販売金額計	在庫数	在庫金額
0000	未登録						
401000004000	アーガイル柄ニットセーターM			9000	450000	50	195000
711000008000	オリジナルオイル			3300	165000	50	54000
711000009000	オリジナルクレンジング			1650	82500	50	35000
711000010000	オリジナルサブリ			2200	110000	50	47500
711000011000	オリジナルパック			6800	330000	50	127500
711000012000	オリジナルローション			1980	99000	50	27500
★小計							
					1236500	300	486500

「発注点切れリスト」登録した数量を割り込んだ、在庫数を一覧表示します



商品コード	商品名	JAN	型番 1	型番 2	登録日	仕先No	欠No	在庫
401000004000	アーガイル柄ニット	4900000000000			1899/12/30	0		50
711000007000	オリジナルクリーム	4912345000071			2014/01/14	3		50
711000008000	オリジナルオイル	4912345000101			2014/01/14	0		50
711000009000	オリジナルクレンジ	4912345000125			2014/01/14	0		50
711000010000	オリジナルサブリ	4901777130340			2014/01/14	0		50
711000011000	オリジナルパック	4912345000149			2014/01/14	0		50
711000012000	オリジナルローシヨ	4912345000088			2014/01/14	0		50

「コード検索在庫一覧」各種コードから在庫数を一覧表示します



商品コード	商品名	JAN	型番 1
201000020000	コーラックⅡ/1 2 0 錠	4987306019287	
405000020000	カゴハソフ	4912345001030	p-c-10001
404000002000	BDソフドット	4912345000132	s-bd200003
711000002000	サツナ和ソフ	4912345000088	oto-100002
408000002000	ダッフルコート	4912345001009	coat-d0001
402000001000	ジャケット/S	4912345000101	j456001
711000012000	オリジナルローション	4912345000088	
該当件数 101件 在庫合計 5063本 在庫金額合計 ¥531,906			

Max(ALF ARK-7000X)
■■ ハンディ仕入・移動業務 ■■
BCPOS ver7.8～

仕入業務設定

ハンディターミナルで行った、仕入業務のデータ取込時の設定を行います

① 「F7 ハンディメニュー」> 「売上・仕入・移動」> 「データ反映」を押してください



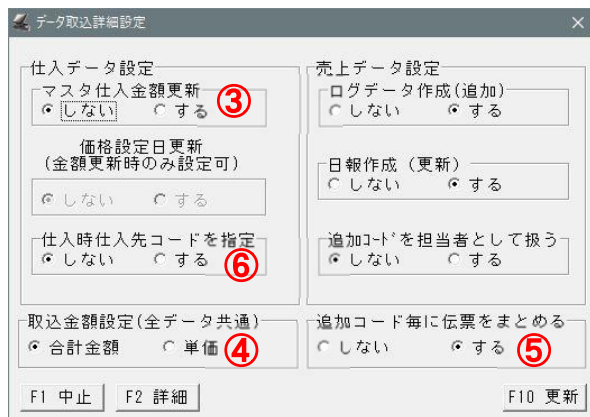
② 「F8 設定」を押します



③ 「マスタ仕入金額更新」
仕入時に入力した金額をマスタに反映

④ 「取込金額設定(全データ共通)」
伝票等にある、商品の合計金額で金額入力するか
商品の仕入単価金額を使うかを選択

⑤ 「追加コード毎に伝票をまとめる」
追加コード(仕入先コード)単位で、まとめます

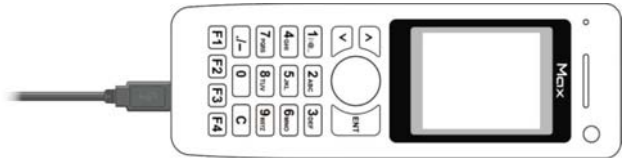


⑥ 「仕入時仕入先コードを指定」
読込ファイル設定画面に「仕入先コード」入力欄を
表示、読み込むファイルの仕入先を一括で設定でき
ます



仕入・移動(マスタデータ転送)

ハンディターミナルで行う、棚卸以外の、仕入・在庫・出庫のマスタを取り込みます

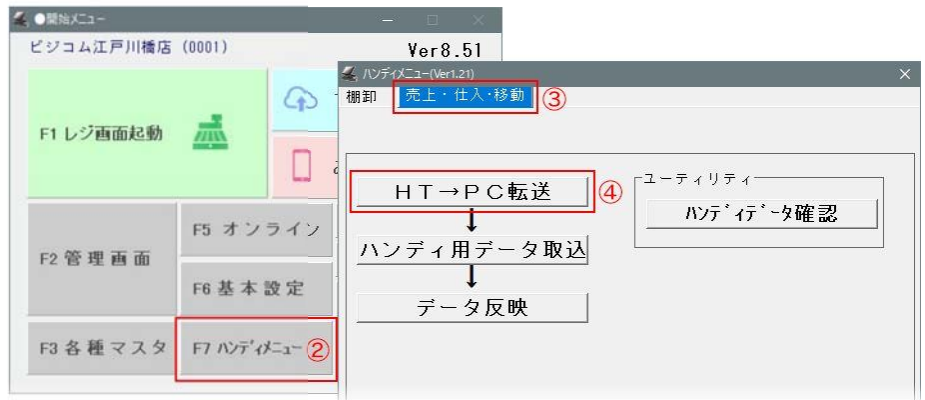


① ハンディを、PCにUSB接続してください

② 「F7 ハンディメニュー」を押します

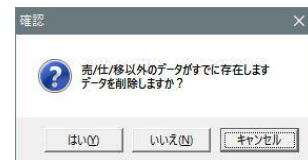
③ 「売上・仕入・移動」を押します

④ 「HT→PC転送」を押します



※ 最新の商品マスタデータを作り直す時は「F6マスタ作成」を押して下さい(P12参照)。

※ 棚卸用のデータが残っている場合「確認」を表示データを削除してください

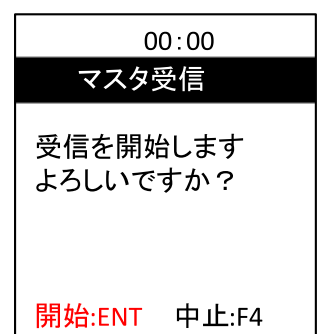
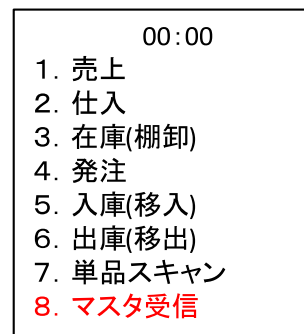


⑤ AlfcomSの「通信開始」を押します



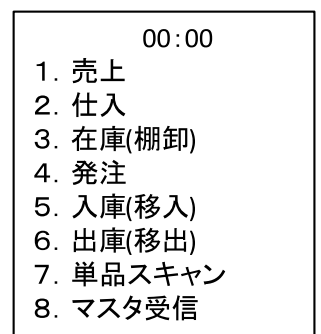
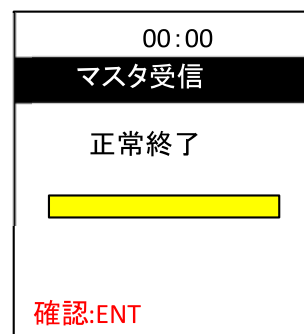
⑥ ハンディのTOP画面から「8.マスタ受信」を押します

⑦ マスタ受信で「開始:ENT」を押します



⑧ 正常終了「確認:ENT」を押して終了します

⑨ 「AlfcomS」画面の「終了」を押して閉じます



例)仕入・移動データ読取り-①

各種業務データの読取り, 修正, 削除, 送信等は、基本的に全て同じ操作方法になります。
在庫データの読取りを参照して頂き、他業務も同様の手順で操作を行ってください

■ データの読取り

① メニューTOP画面から、行う業務の番号を押します

- 2.仕入
- 4.入庫(移入)
- 5.出庫(移出)

```

00:00
1. 売上
2. 仕入
3. 在庫(棚卸)
4. 発注
5. 入庫(移入)
6. 出庫(移出)
7. 単品スキャン
8. マスタ受信
    
```

② 入力[1]を押してください

```

00:00
    在庫
1. 入力
2. 送信

5. 削除

ver〇〇〇
    
```

※ 各業務の「S/T」の
運用について

2「仕入」
S=仕入先コード

5「入庫」
T=移動元店舗コード

6「出庫」
S=移動先店舗コード

```

00:00
仕入業務(入力)
S:
コード:

    数: 1
金: 0 0件

F1 F2 F3 F4
戻る 数字
    
```

```

00:00
入庫業務(入力)
T:
コード:

    数: 1
    0件

F1 F2 F3 F4
戻る 数字
    
```

```

00:00
出庫業務(入力)
S:
コード:

    数: 1
    0件

F1 F2 F3 F4
戻る 数字
    
```

③ 2「仕入」S:仕入先コード 4桁
5「入庫」T:移動元店舗コード4桁
6「出庫」S:移動先店舗コード4桁
各、コード入力は4桁となります
「ENT」で決定します

```

00:00
仕入業務(入力)
S:0000
コード:

    数: 1
    0件

F1 F2 F3 F4
戻る 数字
    
```

例)仕入・移動データ読取り-②

- ④ コード:にカーソルがあたっている状態で
サイドまたは中央のスキャンボタンを押します

- ⑤ 商品を読み出しますので「数」を入力

※取込んだ商品マスタに無いコード読取り時
商品マスタに無い商品を読み込むと「エラー音」がなり
込めません

以降、データを読取って行きます

00:00	
仕入業務(入力)	
S:	
コード:	
201000016000	
胃酸/調整薬	
数:20	
金:2100 0件	
F1	F2 F3 F4
戻る	数字

例)仕入・移動データの確認と更新削除 - ③

各種業務データの読取り途中等で、読取ったデータを修正したり削除をする場合の
データ呼び出し方法は、モードを「検索」にして、修正・削除を行いたい商品コードを
読取って呼び出します

- ① 入力画面の待受け時に「F2」を押します

00:00	
仕入業務(入力)	
S:	
コード:	
数: 1	
金: 0 0件	
F1	F2 F3 F4
戻る	検索

- ② 対象の商品を読み取ります
登録したデータを表示します
数量を変更して「ENT」で決定

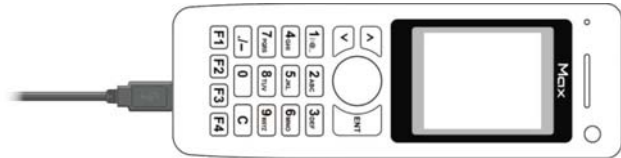
データを削除する場合「F3」を押します

00:00	
仕入業務(検索)	
S:	
コード:	
201000016000	
胃酸/調整薬	
数:20	
金: 2100 0件	
F1	F2 F3 F4
戻る	削除

① HT → PC転送 (ハンディデータ転送)

仕入データをPCに転送します。順を追ってハンディとBCPOSを操作してください。

① ハンディを、PCにUSB接続してください



② 「F7 ハンディメニュー」を押します

③ 「売上・仕入・移動」を押します

④ 「HT→PC転送」を押します



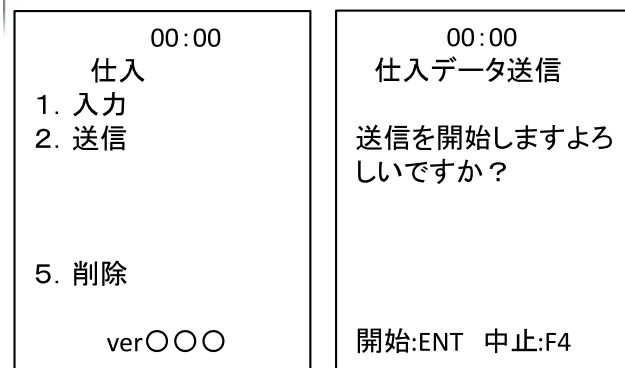
⑤ AlcomSが開きます「通信開始」を押してください



⑥ 入力画面の場合「F1」を押します

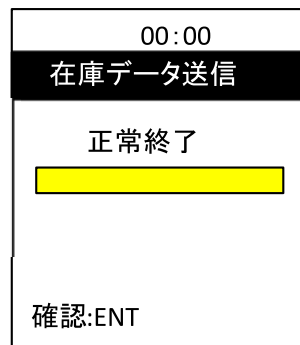
「2.送信」を押します

「ENT」を押します

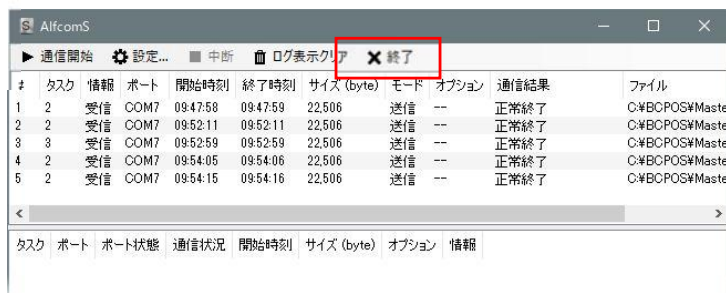


⑦ 正常終了

「ENT」を押します



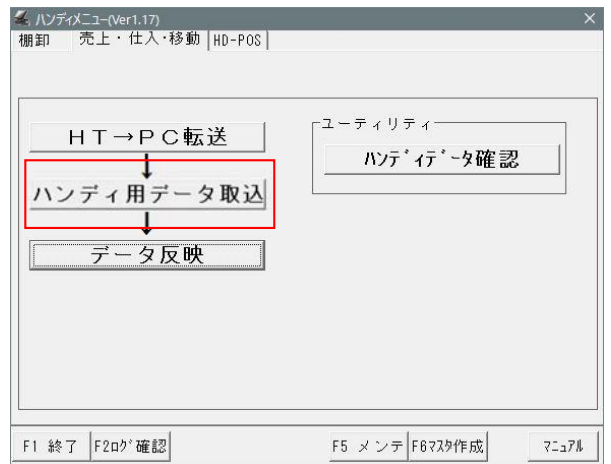
⑧ 「終了」を押します



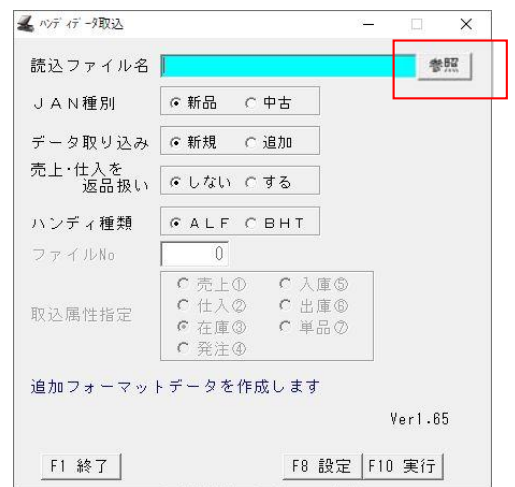
② ハンディ用データ取込

PCに取り込んだデータをBCPOS反映させます

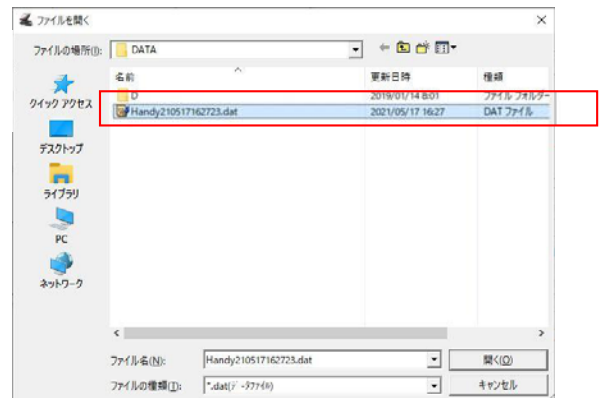
- ① ハンディメニューより「ハンディ用データ取込」を選択



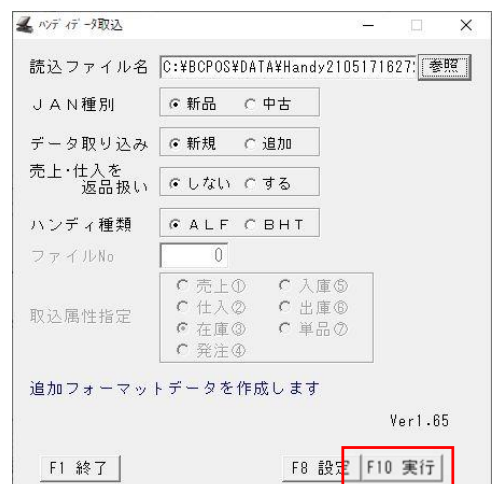
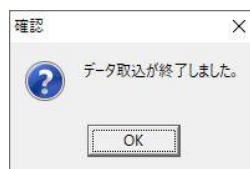
- ② ハンディデータ取込が開きますので、「参照」をクリックして下さい



- ③ 「ファイルを開く」の画面が表示されます
対象の「*****.dat」をダブルクリックします



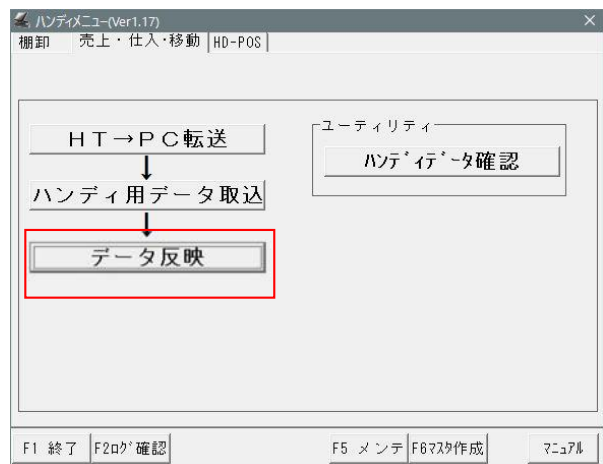
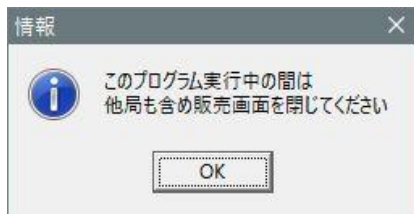
- ④ 「F10実行」を押します
取込終了のメッセージの「OK」をクリックします
「終了」で取込画面を終了します



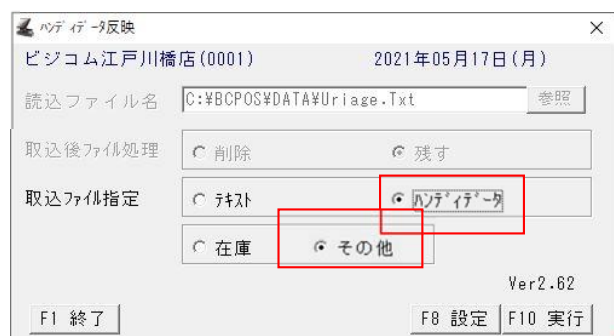
③ 仕入・移動データ反映(テキストデータの取込) ①

BCPOSに取り込んだデータを反映させます

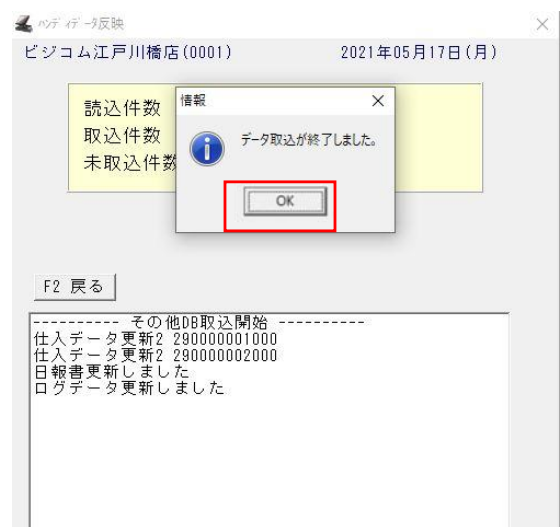
- ① ハンディメニューより「データ反映」を選択
確認メッセージが表示されるので
レジ画面を閉じてからOKを押す



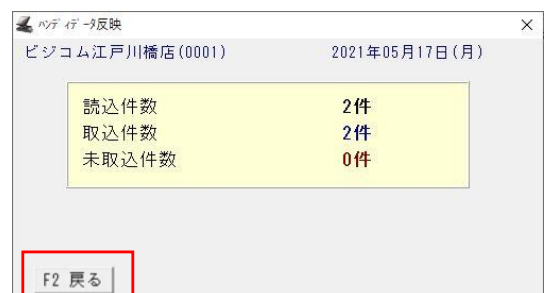
- ② ハンディデータ反映が開きますので、
「ハンディデータ」、「その他」にチェックして
「F10実行」をクリックして下さい



- ③ 取込終了のメッセージの「OK」をクリックして下さい



- ④ 「F2戻る」を押します



④ 仕入・移動データ反映(テキストデータの取込) ②

- ⑦ 「F1 終了」を押して下さい
処理が反映されます

ジャーナル点検等で反映されているか確認して
下さい

インデータ反映

ビジコム江戸川橋店(0001) 2021年05月17日(月)

読込ファイル名 C:\¥BCPOS¥DATA¥Uriage.Txt 参照

取込後ファイル処理 削除 残す

取込ファイル指定 テキスト インディケーター

在庫 その他

Ver2.02

F1 終了 F8 設定 F10 実行

Max(ALFARK-7000X)

■■ ハンディ売上業務 ■■

BCPOS ver7.8～

売上業務では、複数の商品を読取り、合計金額を算出する事はできません。

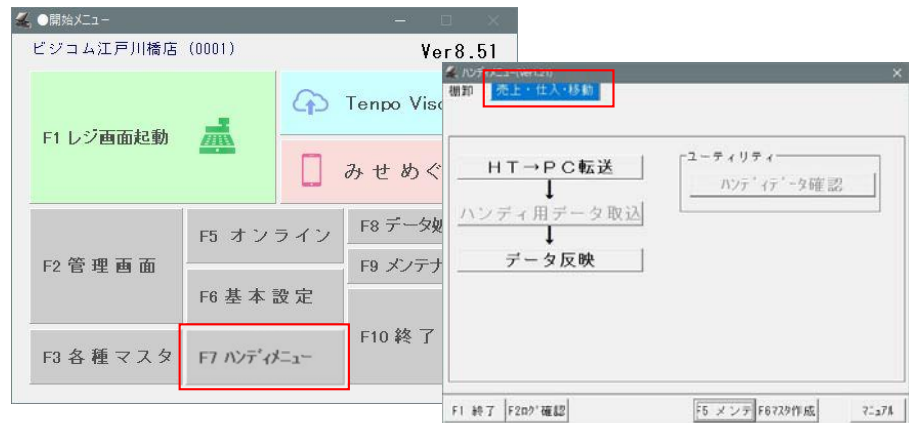
また、税設定もありません。

販売業務を行う場合DENSOのハンディターミナル(HD-POS)をご利用ください

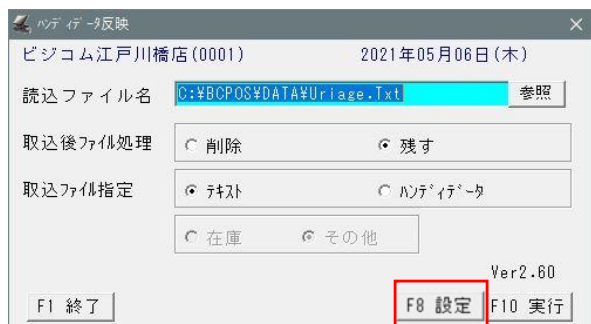
売上業務設定

ハンディターミナルで行った、売上業務のデータ取込時の設定を行います

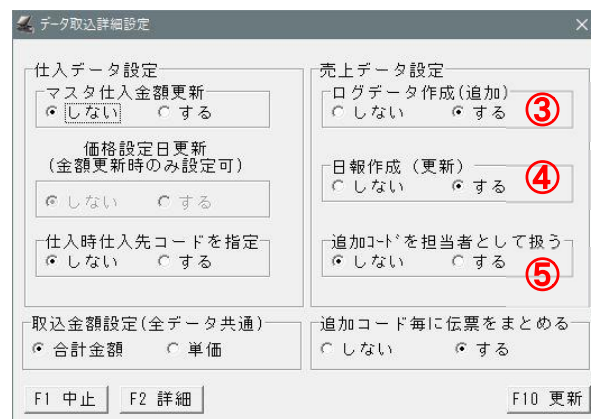
- ① 「F7 ハンディメニュー」> 「売上・仕入・移動」> 「データ反映」を押してください



- ② 「F8 設定」を押します

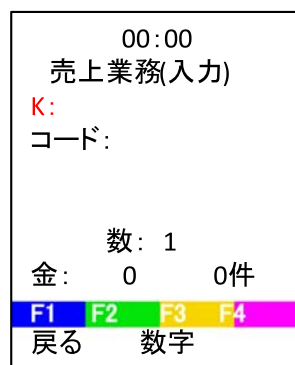


- ③ 「売上データ設定」
売上データのログを作成して、ログを表示します



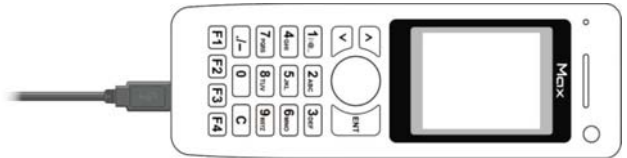
- ④ 「日報作成(更新)」
BCPOSの日報にハンディの業務を追加して更新
※「する」にしてください

- ⑤ 「追加コードを担当者として扱う」
売上入力欄の、追加コード(K)、
顧客として使うか、担当者として使うかの設定



売上(マスタデータ転送)

ハンディターミナルで行う、売上のマスタを取り込みます

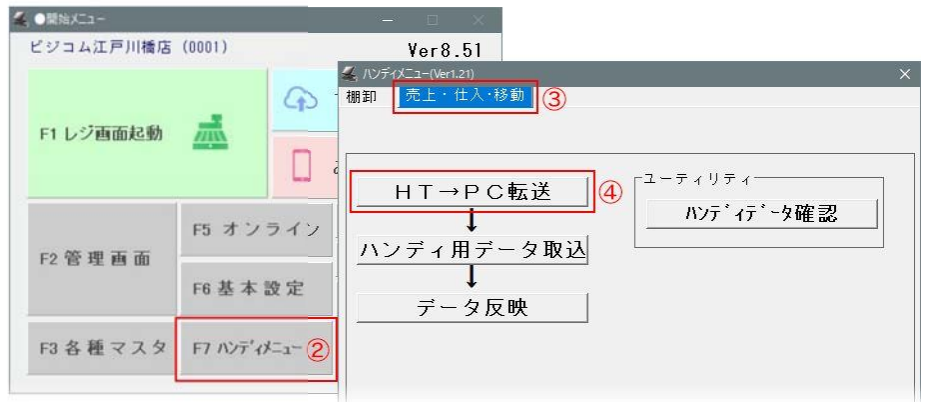


① ハンディを、PCにUSB接続してください

② 「F7 ハンディメニュー」を押します

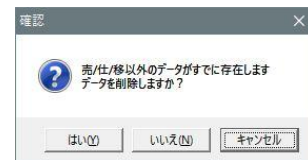
③ 「売上・仕入・移動」を押します

④ 「HT→PC転送」を押します



※ 最新の商品マスタデータを作り直す時は「F6マスタ作成」を押して下さい(P12参照)。

※ 棚卸用のデータが残っている場合「確認」を表示データを削除してください

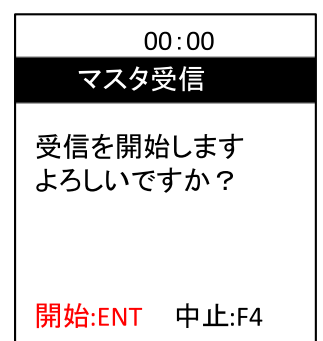
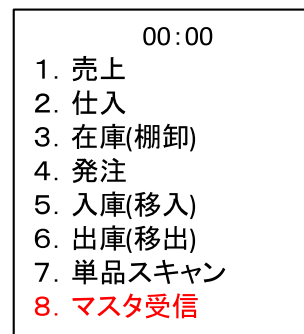


⑤ AlfcomSの「通信開始」を押します



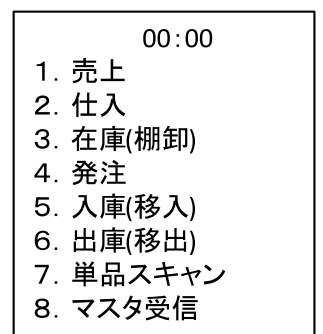
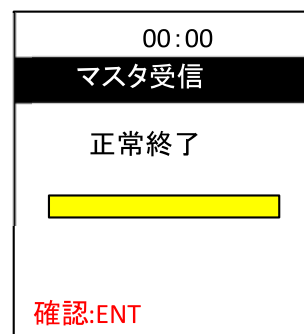
⑥ ハンディのTOP画面から「8.マスタ受信」を押します

⑦ マスタ受信で「開始:ENT」を押します



⑧ 正常終了「確認:ENT」を押して終了します

⑨ 「AlfcomS」画面の「終了」を押して閉じます



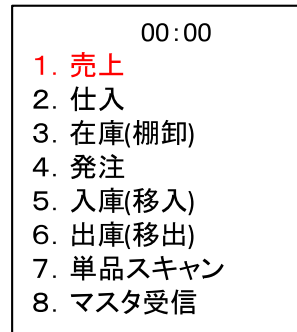
例) 売上データ読取り - ①

売上業務では、複数の商品を読取り、合計金額を算出する事はできません。
また、税設定もありません。販売業務を行う場合DENSOのハンディターミナル
(HD-POS)をご利用ください

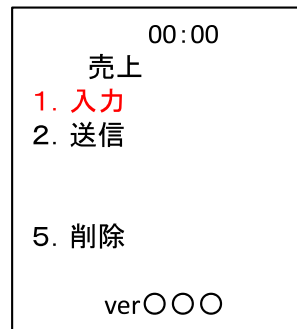
■ データの読取り

① メニューTOP画面から「1」を押します

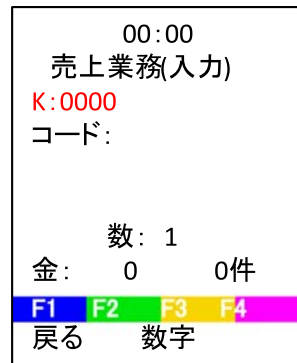
1. 売上



② 入力[1]を押してください

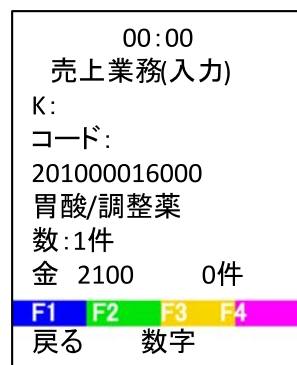


③ K:顧客コード(設定で担当者コード)4桁を入力
「ENT」で決定します
※担当者/顧客コードを使用しない場合ENT



④ コード:にカーソルがあたっている状態で
サイドまたは中央のスキャンボタンを押します

⑤ 商品を出しますので「数」を入力
金額調整する場合「金」を変更します
「ENT」で読取り終了



※取込んだ商品マスタに無いコード読取り時
商品マスタに無い商品を読込むと「エラー音」がなり
込めません

以降、データを読取って行きます

例) 売上データの確認と更新削除 - ②

売上データの読取り途中等で、読取ったデータを修正したり削除をする場合のデータ呼び出し方法は、モードを「検索」にして、修正・削除を行いたい商品コードを読取って呼び出します

- ① 入力画面の待受け時に「F2」を押します

00:00	
売上業務(入力)	
K:	
コード:	
数: 1	
金: 0	0件
F1	F2 F3 F4
戻る	検索

- ② 対象の商品を読み取ります
登録した売上を表示します

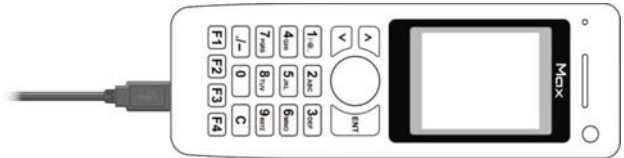
数量や金額を変更して「ENT」
データを削除する場合「F3」を押します

00:00	
売上業務(入力)	
K:	
コード:	
201000016000	
胃酸/調整薬	
数:1件	
金 2100	0件
F1	F2 F3 F4
戻る	数字

① HT → PC転送 (ハンディデータ転送)

棚卸データをBCPOSに転送します。順を追ってハンディとBCPOSを操作してください。

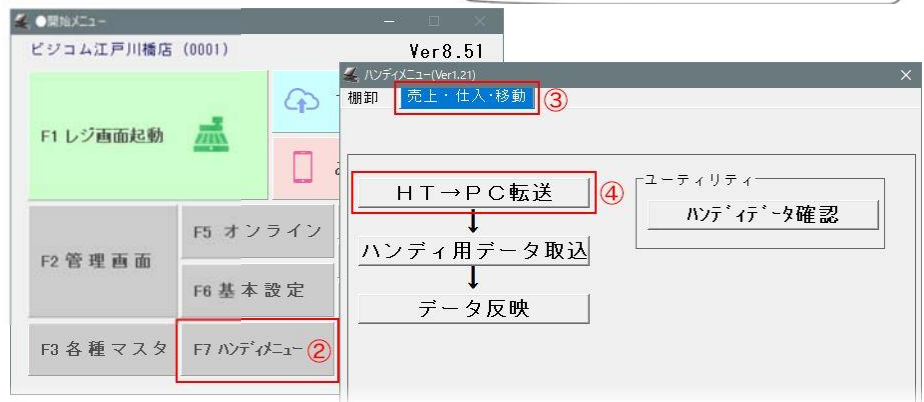
① ハンディを、PCにUSB接続してください



② 「F7 ハンディメニュー」を押します

③ 「売上・仕入・移動」を押します

④ 「HT→PC転送」を押します



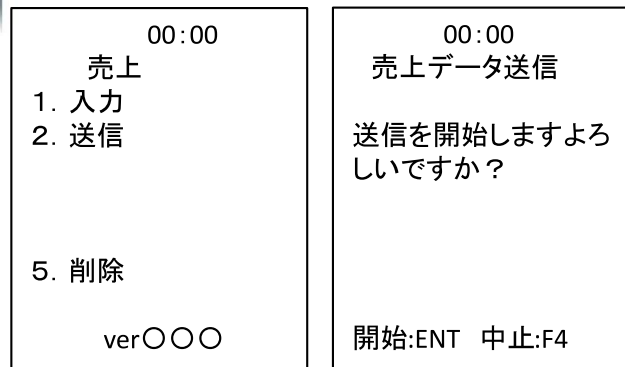
⑤ AlcomSが開きます「通信開始」を押してください



⑥ 入力画面の場合「F1」を押します

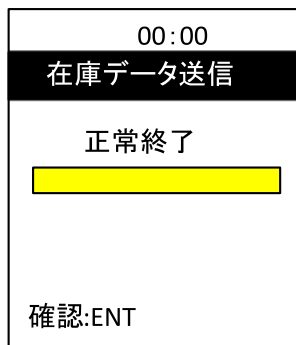
「2.送信」を押します

「ENT」を押します

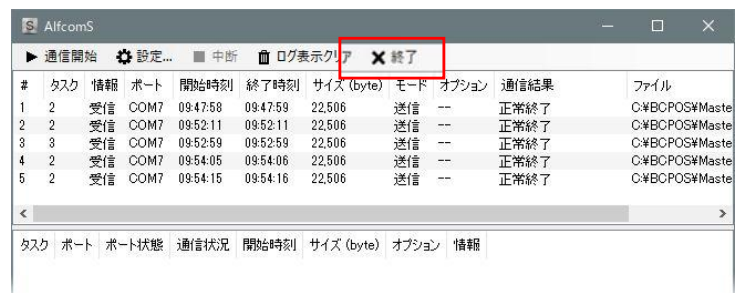


⑦ 正常終了

「ENT」を押します



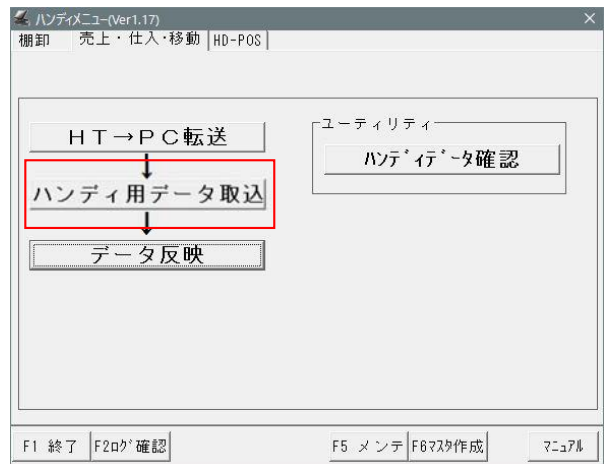
⑧ 「終了」を押します



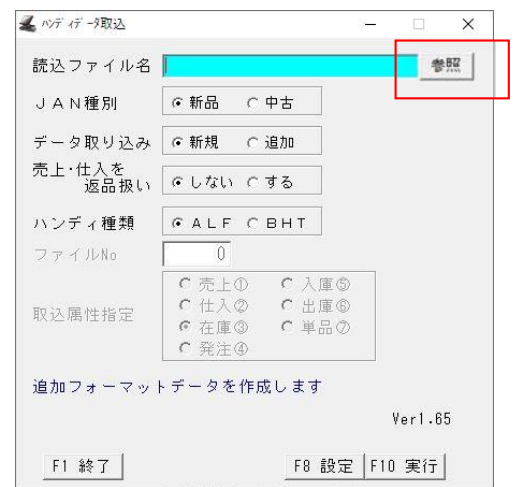
② ハンディ用データ取込

PCに取り込んだデータをBCPOS反映させます

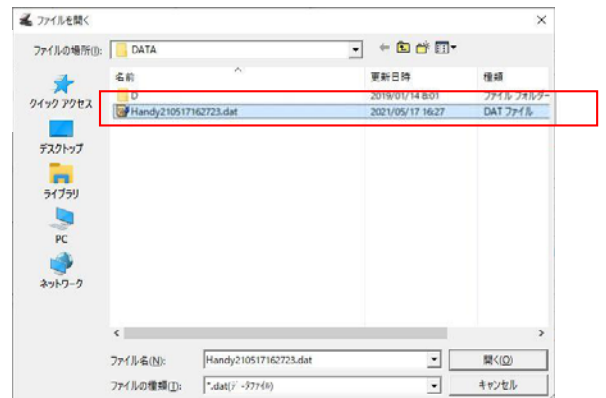
① ハンディメニューより「ハンディ用データ取込」を選択



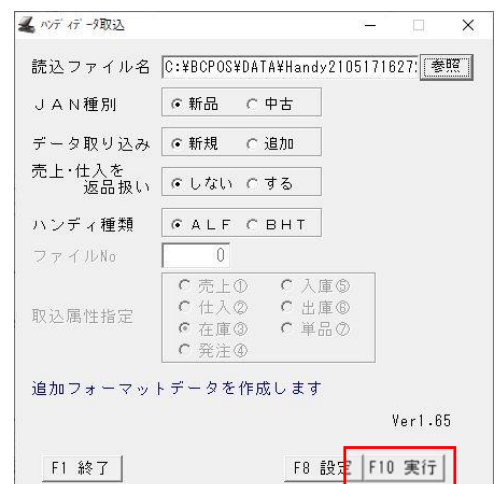
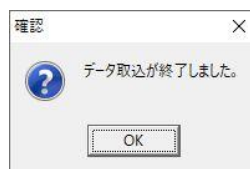
② ハンディデータ取込が開きますので、「参照」をクリックして下さい



③ 「ファイルを開く」の画面が表示されます
対象の「*****.dat」をダブルクリックします



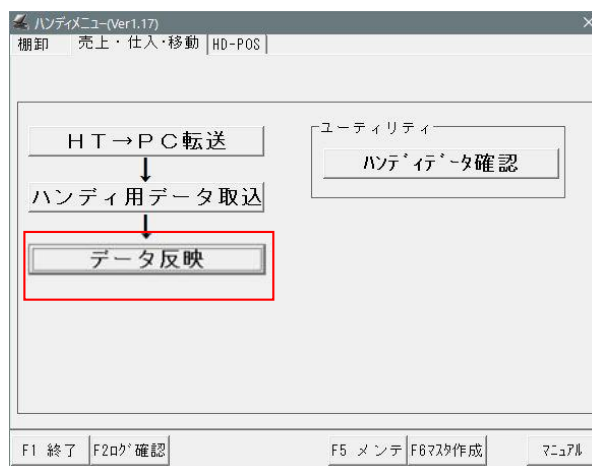
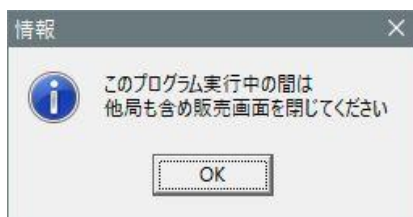
④ 「F10実行」を押します
取込終了のメッセージの「OK」をクリックします
「終了」で取込画面を終了します



③売上データ反映(テキストデータの取込) ①

BCPOSに取り込んだデータを反映させます

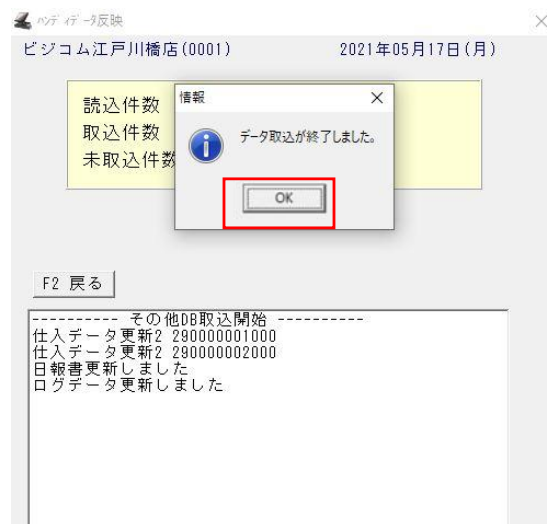
- ① ハンディメニューより「データ反映」を選択
確認メッセージが表示されるので
レジ画面を閉じてからOKを押す



- ② ハンディデータ反映が開きますので、
「ハンディデータ」、「その他」をチェックして「実行」をクリックして下さい



- ③ 取込終了のメッセージの「OK」をクリックして下さい



- ④ 「F2戻る」を押します



④売上データ反映(テキストデータの取込) ②

BCPOSに取り込んだデータを反映させます

- ⑤ 「F1 終了」を押して下さい
処理が反映されます

ジャーナル点検等で反映されているか確認して
下さい

データ反映

ビジコム江戸川橋店(0001) 2021年05月17日(月)

読込ファイル名 C:\BCPOS\DATA\Uriage.Txt 参照

取込後ファイル処理 削除 残す

取込ファイル指定 リスト その他

在庫 その他

Ver2.62

F1 終了 F8 設定 F10 実行

サポート

■ 電話サポート無料

ビジコムでは平日の10時から18時まで電話などによるサポートを受け付けています

電話窓口によるサポートにおいては一切費用をいただいております

当社の営業時間であればいつでも電話などでサポートさせていただきます

インストールや操作方法などに関するお問合せ、ハンディ使用上のトラブルなどを受け付けております

株式会社ビジコム カスタマーセンター

TEL 0827-28-5130

営業時間 平日10:00～18:00
(土・日・祝および営業時間外のサポートはお受けできません)

E-Mail support@busicom.co.jp

株式会社ビジコム

WEB : <http://www.busicom.co.jp/>

Mail : info@busicom.co.jp

ハンディ(Max) ユーザーズガイド(BCPOS)

初版 2021年 05月



Copyright © 2021 BUSICOM All Rights Reserved